

横手市水道事業アンケート

報告書

令和6年10月

横手市上下水道部

目 次

調査の概要

| | |
|---------------|---|
| 1. 調査の目的 | 3 |
| 2. 調査対象とサンプル数 | 3 |
| 3. 調査の方法 | 3 |
| 4. 調査の期間 | 3 |
| 5. 回収状況 | 3 |
| 6. 集計における注記 | 4 |

調査結果

| | |
|---------------------------|-----|
| 1. お客様の属性について | |
| Q 1. 年代 | 6 |
| Q 2. 住まいの形態 | 6 |
| Q 3. 居住年数 | 7 |
| Q 4. 同居のご家族の人数 | 7 |
| Q 5. 居住地域 | 8 |
| 2. 水のご使用について | |
| Q 6. 水道水の安全性について | 9 |
| Q 6-1. 水道水の不安理由 | 1 1 |
| Q 7. 普段飲む水について | 1 2 |
| Q 7-1. 水道水を飲まない理由 | 1 4 |
| Q 8. 水道水への満足度合い | 1 5 |
| 3. 節水について | |
| Q 9. 節水への意識について | 2 1 |
| Q 9-1. 節水の取り組み | 2 3 |
| 4. 水道料金について | |
| Q10. 水道料金の水準について | 2 4 |
| Q11. 前問の回答を選んだ理由 | 2 6 |
| Q12. 支払方法について | 2 8 |
| Q12-1. 口座振替を行わない理由 | 2 9 |
| Q13. 隔月検針及び請求方法について | 3 0 |
| Q14. 冬期間の推定水量及び精算について | 3 0 |
| Q15. 検針票のペーパーレス化について | 3 1 |
| 5. 広報活動について | |
| Q16. 水道だよりについて | 3 2 |
| Q16-1. 水道だよりの掲載内容について | 3 2 |
| Q17. 水道だよりでもっと知りたい情報について | 3 3 |
| Q18. 情報収集しやすい媒体について | 3 4 |
| 6. 災害対策について | |
| Q19. 災害時の拠点となる水道庁舎の今後について | 3 5 |
| Q20. 水道事業で力を入れるべき災害対策について | 3 6 |

| | |
|---------------------------|----|
| 7. 今後の水道事業について | |
| Q21. 水道事業は地方公営企業であることについて | 37 |
| Q22. 水道料金収入の減少状況について | 37 |
| Q23. 水道管や施設の老朽化について | 38 |
| Q24. 水道料金の値上げについて | 38 |
| Q25. 水道の未普及地域について | 39 |
| Q26. 水道の未普及地域の整備について | 39 |
| 8. 水道事業全体について | |
| Q27. 水道事業全体の満足度 | 40 |
| Q27-1. 前問の回答を選んだ理由 | 41 |
| ※参考資料(アンケート用紙) | 42 |

調査の概要

1. 調査の目的

水道に関する様々な事項について、水道利用者の意識・ニーズがどのようなものか、その実態を把握・分析し、今後の事業の効率的な運営に役立てること。

2. 調査対象とサンプル数

令和6年7月の水道利用者の中から、各地域の給水人口割合に応じ、一般世帯における利用者1,000件を抽出。

3. 調査の方法

令和6年8月22日発送。同封の返信用封筒による郵送回答またはWebによる回答を依頼。

4. 調査の期間

令和6年8月23日から令和6年9月13日までの回収分について集計した。

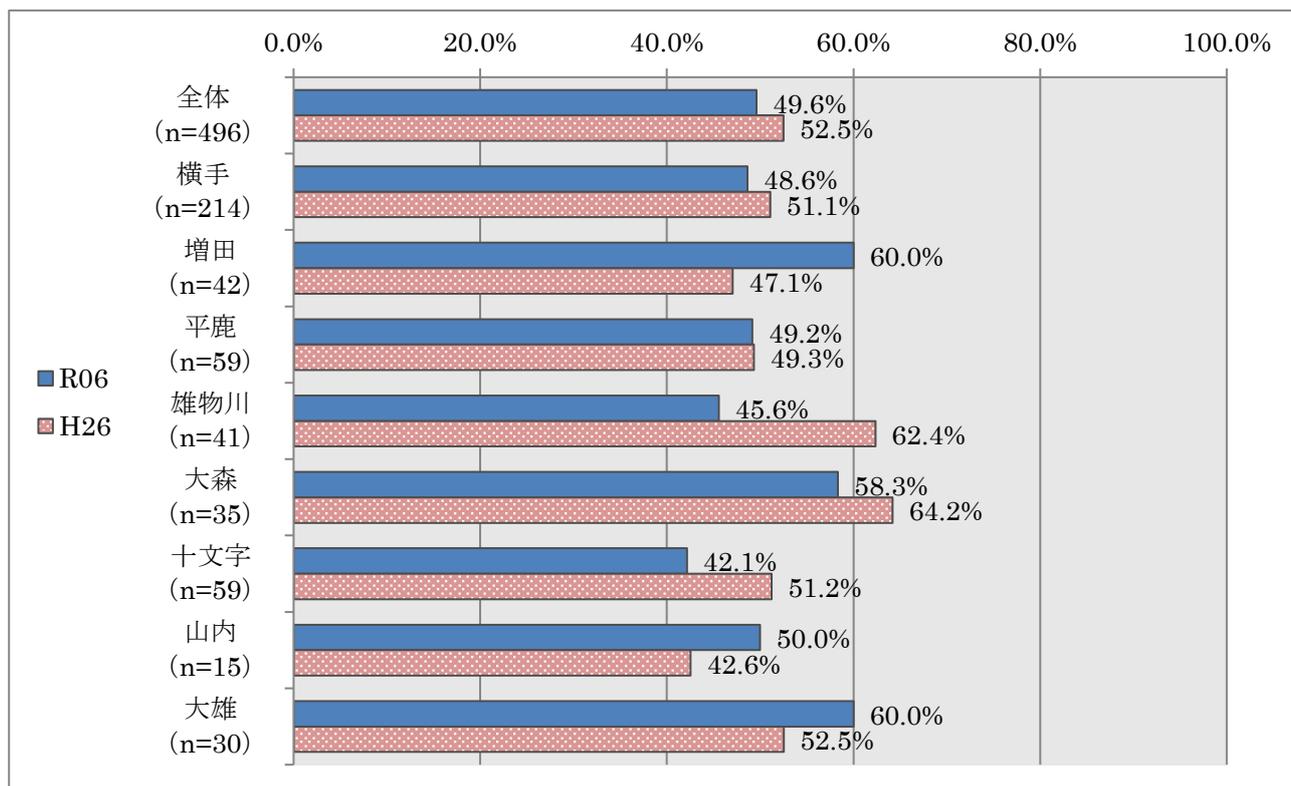
5. 回収状況

配布数：1,000件（H26：1,000件）

回収数：496件（H26：525件）

回収率：49.6%（H26：52.5%）

※10年前と比較するためH26の数値を併記



6. 集計における注記

1. 回答比率について

図表中の百分率（％）は、小数第一位を四捨五入し、整数で表記している。そのため、合計が100％にならない場合がある。また、0％で表示されているものは、回答があったものの端数処理により0％になっているものであり、回答がないものについては表示していない。

一方、グラフにおいては、少数第一位以下も反映した表示になっているため、同じ％であっても目盛りに違いが生じている場合がある。

2. 回答数について

各設問に対する回答数は「n」と表記しており、回答比率（％）を算出する基礎となるものである。

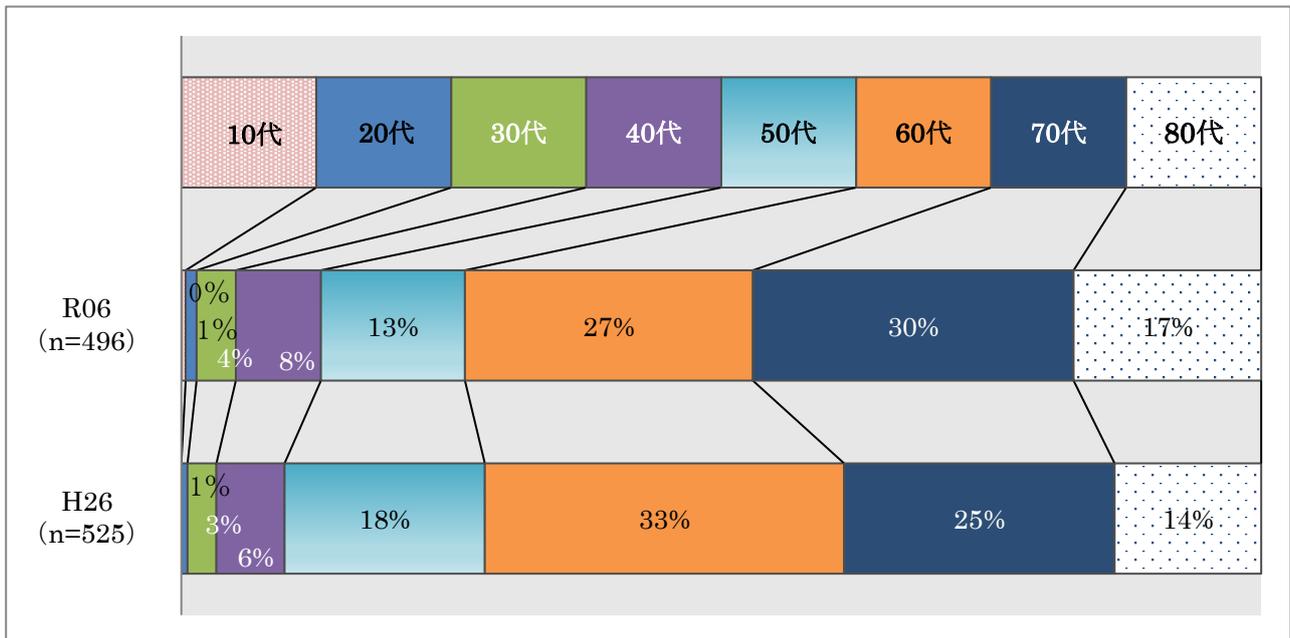
3. 経年比較について

水道事業アンケートは平成24年度から継続して実施しており、今回は10年前（平成26年度）の調査において同様の質問があった項目を基本的に比較している。ただし、最近の動向を見るため、前年度と比較している項目もある。

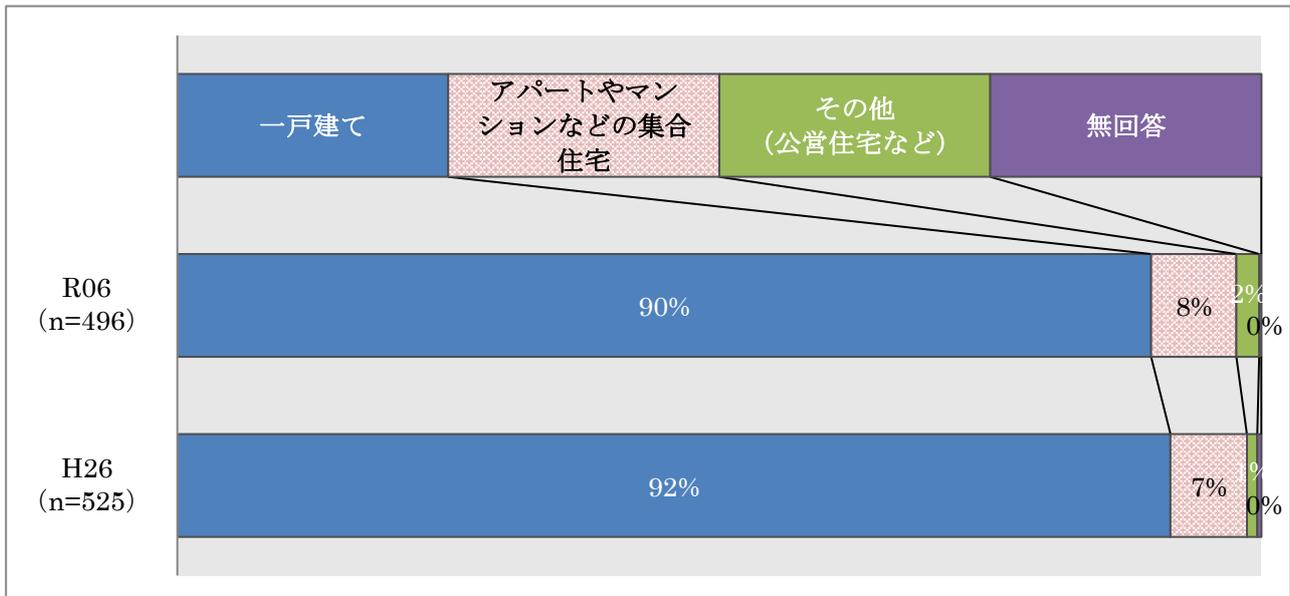
調査結果

1. お客様の属性について

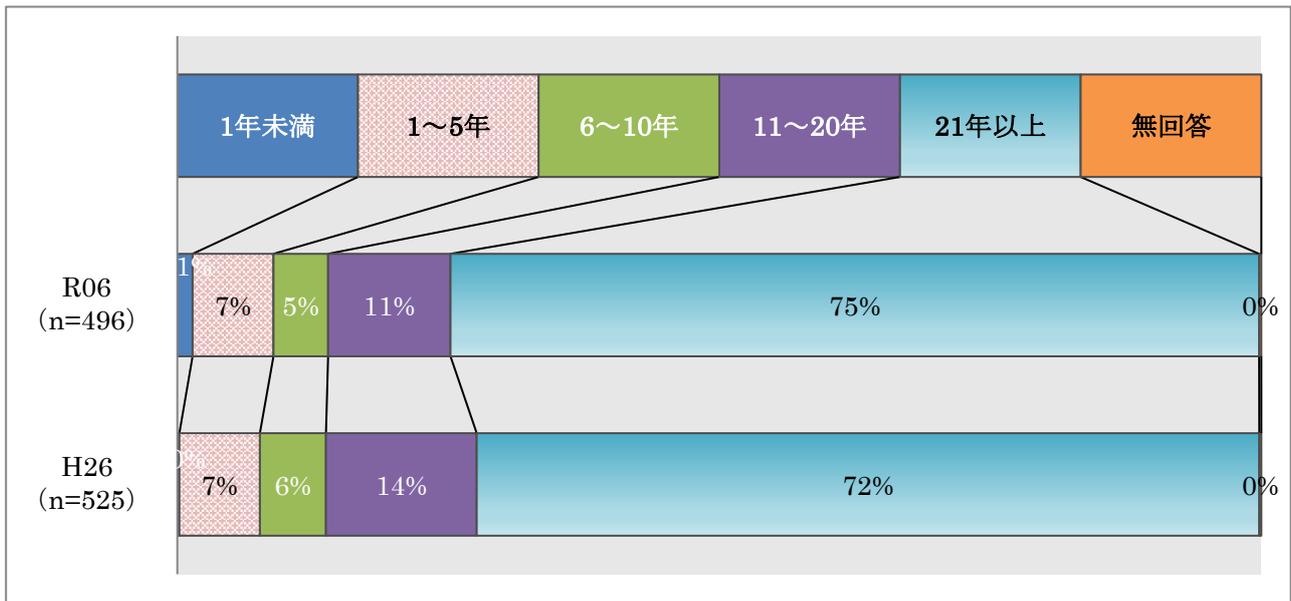
Q1 あなたの年代は？



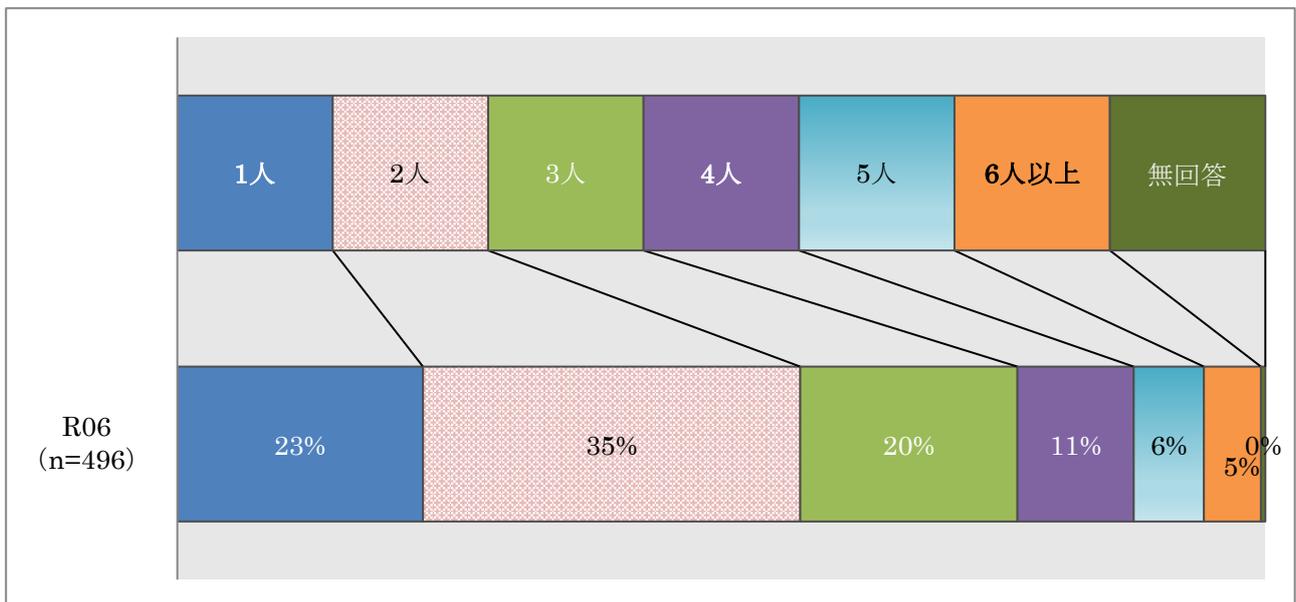
Q2 あなたのお住まいの形態は？



Q3 お住まいになって何年ですか？

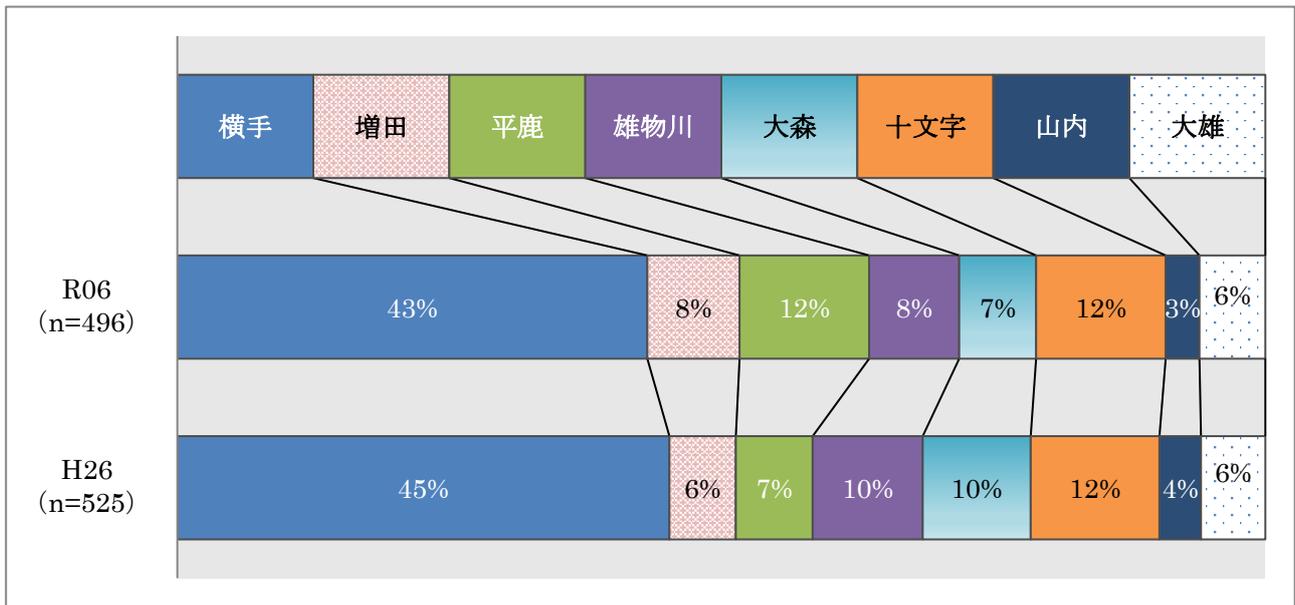


Q4 一緒に暮らしているご家族は、あなたを含み何人ですか。



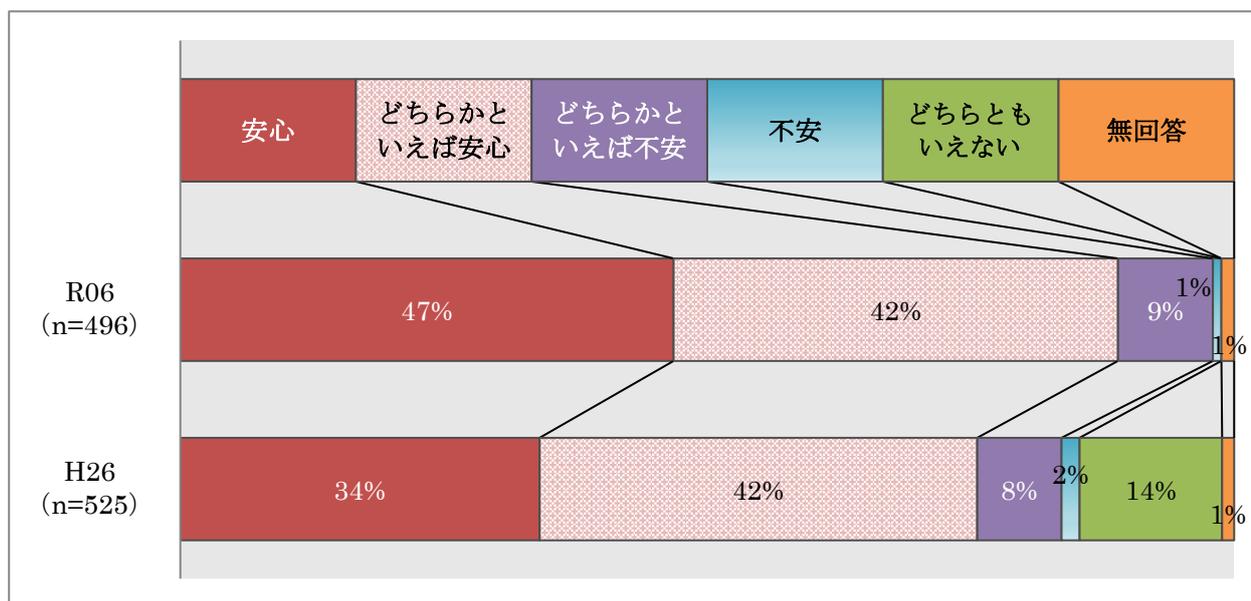
※平成 26 年度の調査では、この質問項目を設けておりませんでした。

Q5 あなたのお住まいの地域は？



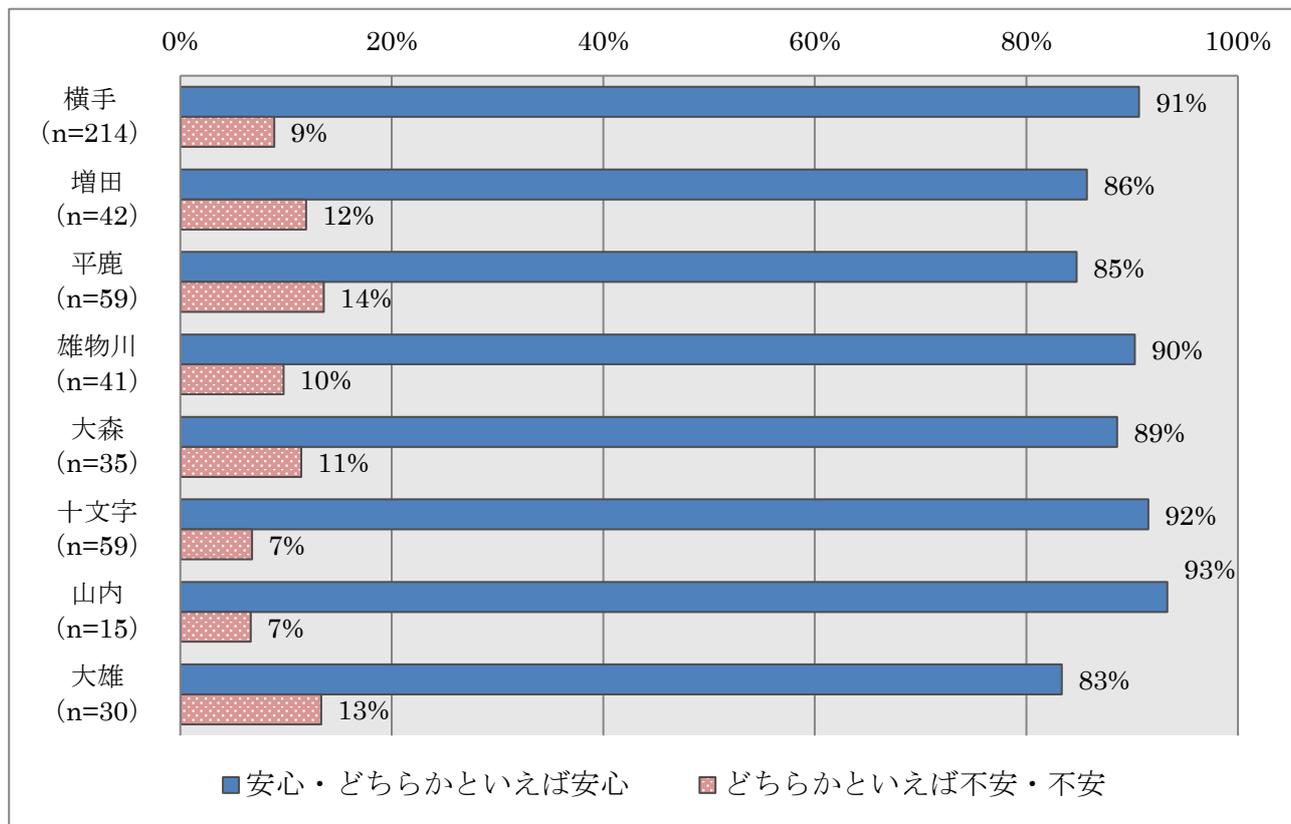
2. 水のご使用について

Q6 水道水の水質（安全性）について、どのようにお感じになりますか？

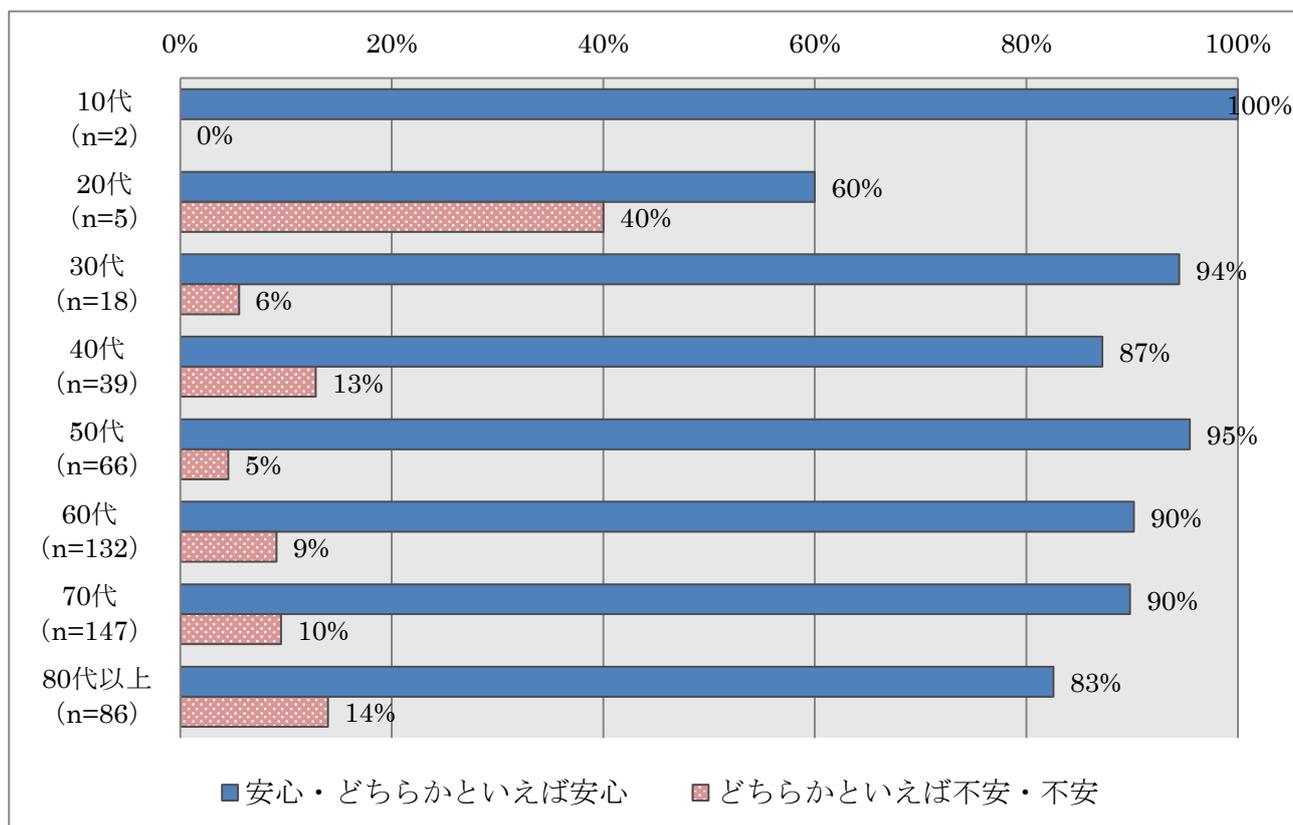


水道水の水質（安全性）については、「安心」、「どちらかといえば安心」とする肯定的回答が 89% となっています。平成 26 年度の調査においては、「どちらともいえない」という選択肢を設けていましたが、令和 2 年度の調査からこの選択肢は除いています。平成 26 年度と比較した場合、不安に感じている割合は同程度となっています。

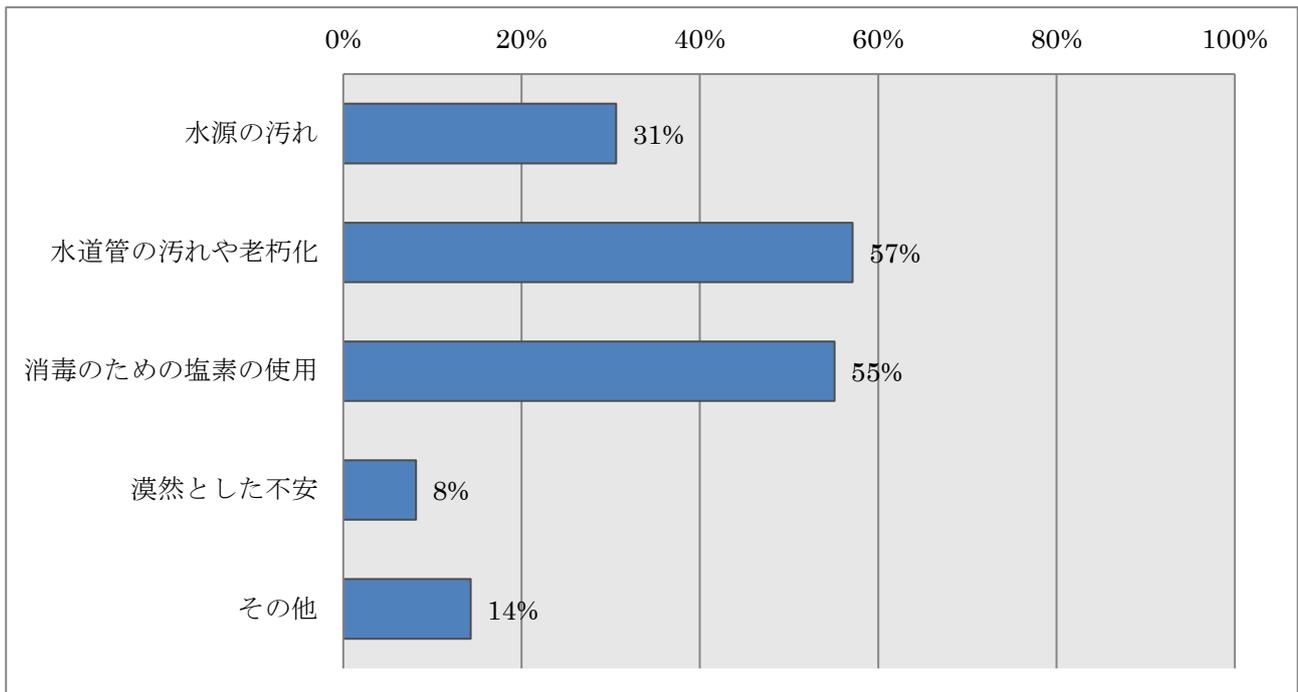
◇地域別に「安心・どちらかといえば安心」と回答した方と「どちらかといえば不安・不安」と回答した方を比較すると次のようになっています。



◇年代別に「安心・どちらかといえば安心」と回答した方と「どちらかといえば不安・不安」と回答した方を比較すると次のようになっています。



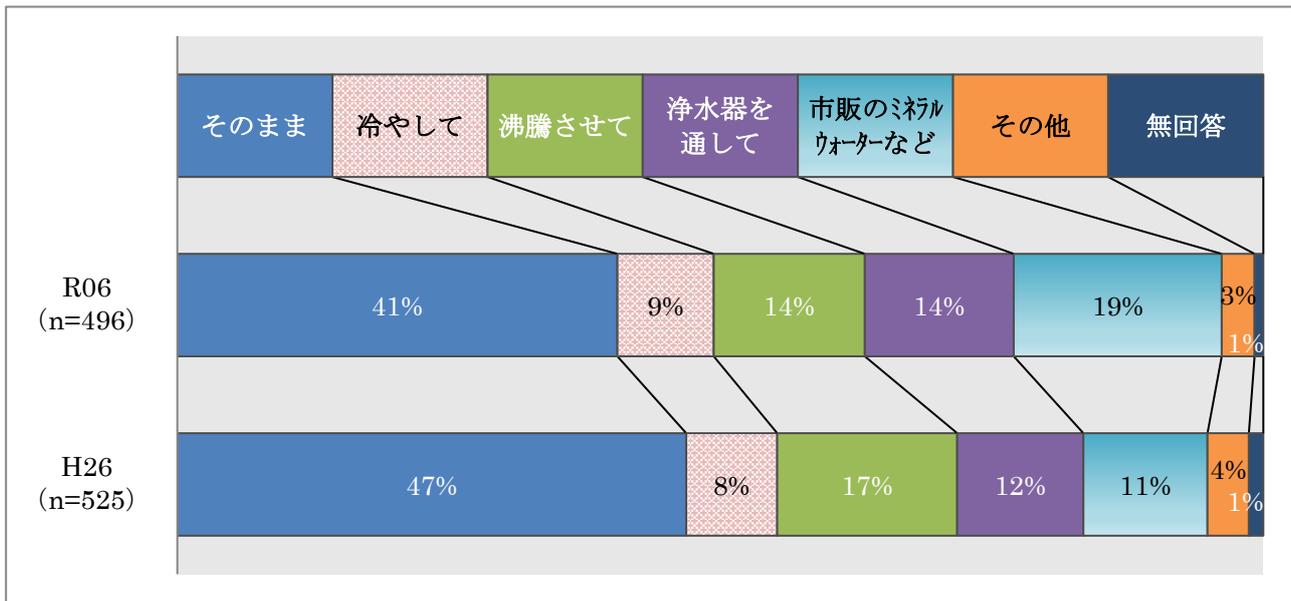
Q6-1 前記 Q6 の質問で「3. どちらかといえば不安である」「4. 不安である」を選んだ方にお尋ねします。不安と感じる理由は何ですか。(複数回答可)



水道水の水質（安全性）について、「不安である」または「どちらかといえば不安である」と回答した方にその理由をたずねたところ、「水道管の汚れや老朽化」（57%）と「消毒のための塩素の使用」（55%）回答する率が高くなりました。

- ◆ 「その他」の理由は次のとおり。
 - ・風呂とコップが青くなる
 - ・PFAS
 - ・カドミウム汚水
 - ・最初に出した時、赤水が出る
 - ・まずい
 - ・数年前、糸のような虫が出てきた
 - ・水の出が悪い

Q7 普段飲む水は、どうされていますか。

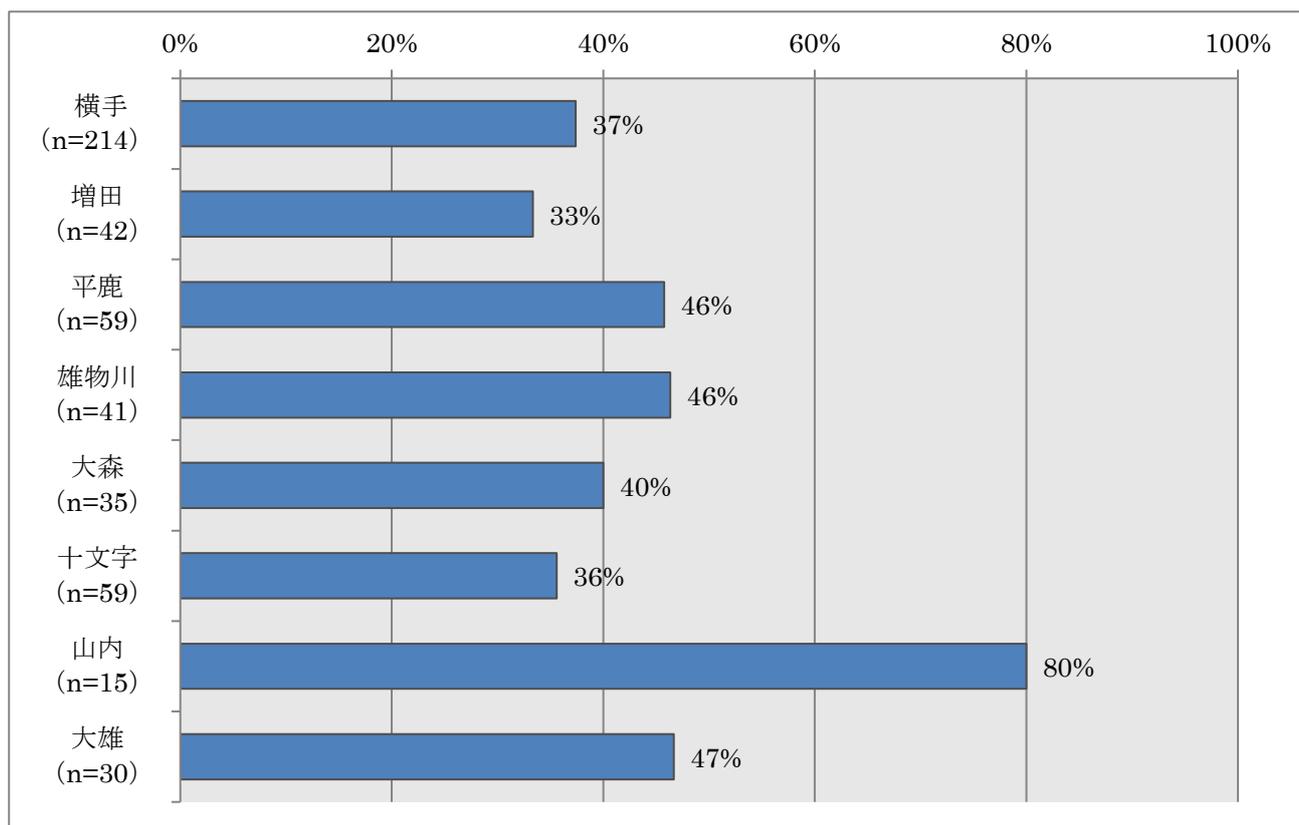


普段飲む水については、「水道水をそのまま飲む」が41%で一番高い割合となっていますが、平成26年度と比べると6ポイント下がっています。逆に、「市販のミネラルウォーターなどを飲む」が19%となり、8ポイント上昇しています。

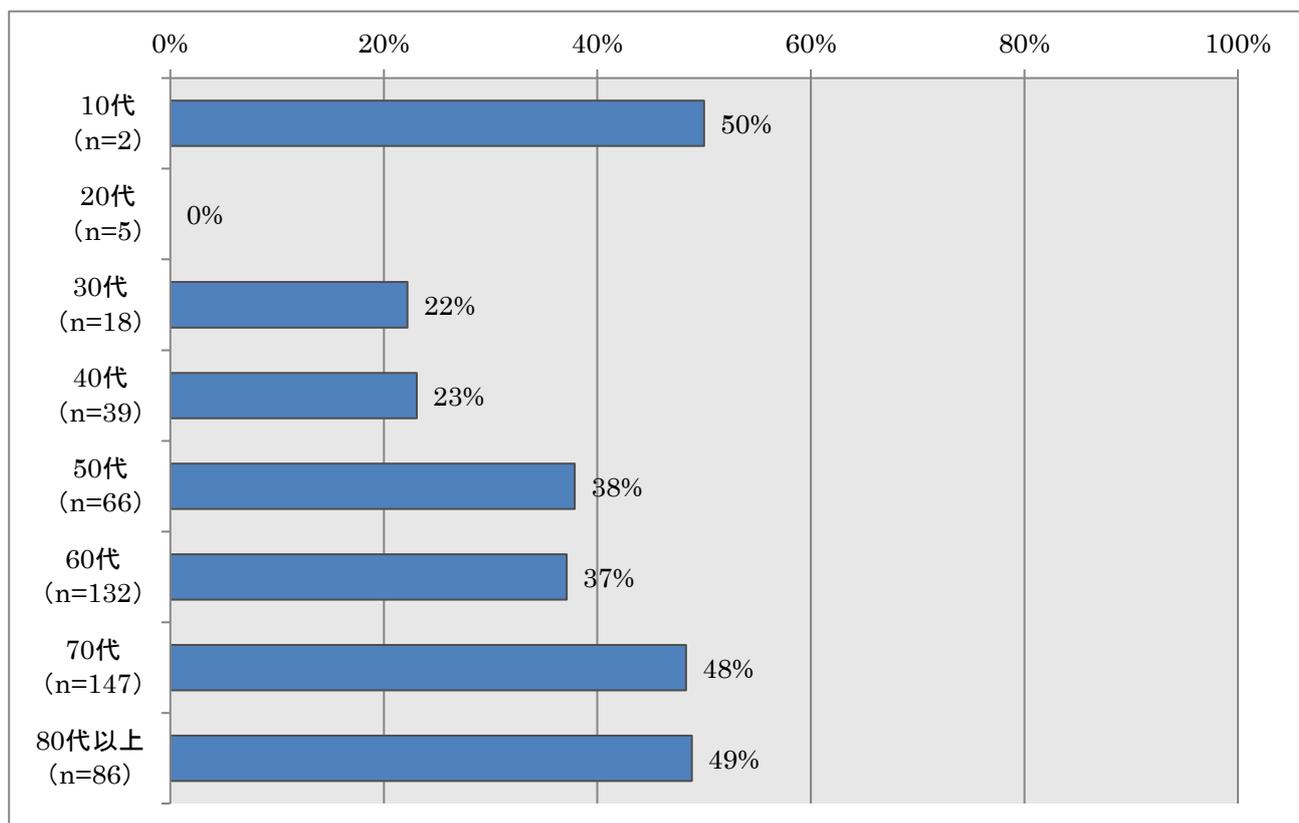
◆ 「その他」の主なものは次のとおり。

- ・ ウォーターサーバー
- ・ 水素水精製機を通した水を飲む
- ・ スーパーのミネラルウォーター
- ・ 地下水
- ・ 湧き水
- ・ 薬の時だけ使用
- ・ 飲んでない

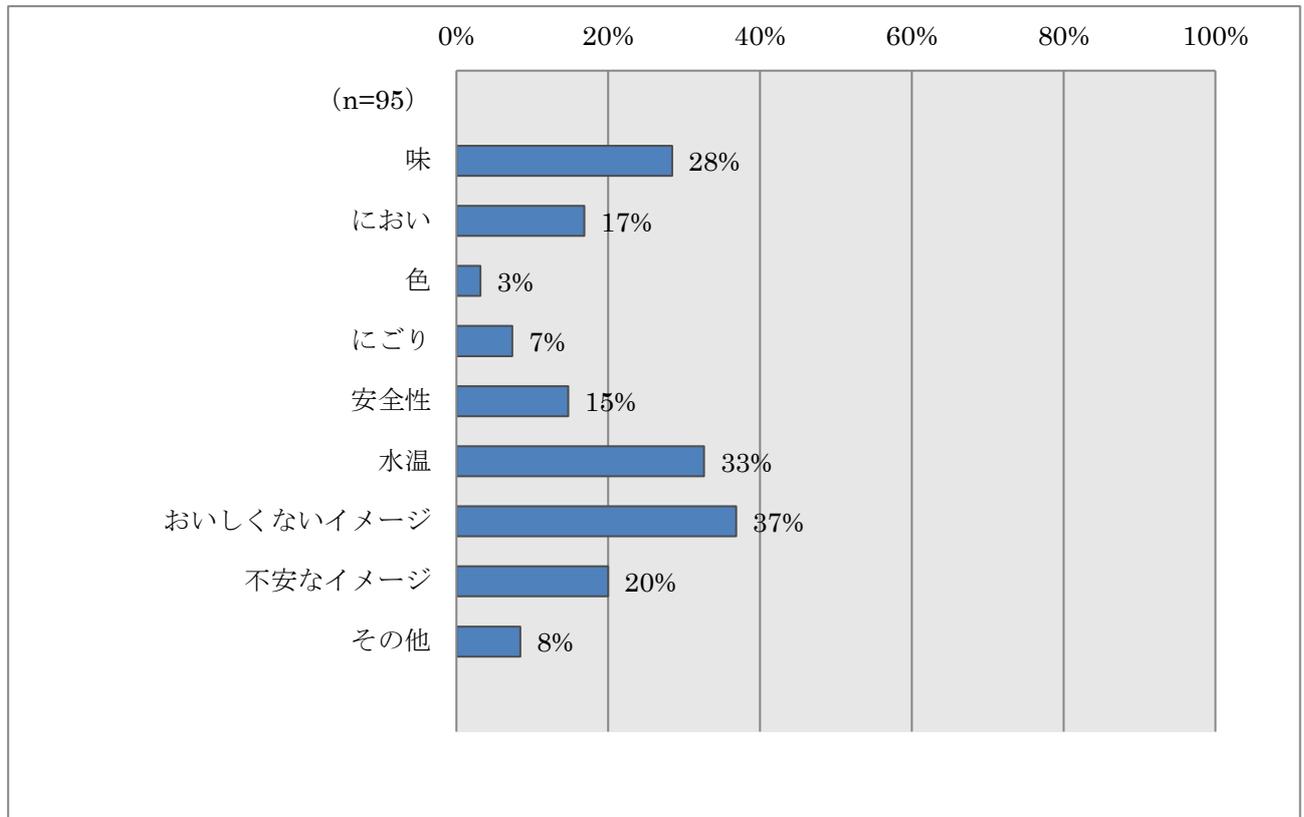
◇地域別に「水道水をそのまま飲む」と回答した方の割合をみると次のようになっています。



◇年代別に「水道水をそのまま飲む」と回答した方の割合をみると次のようになっています。



Q7-1 前記 Q7 の質問で「5. 市販のミネラルウォーターなどを飲む」を選んだ方へお尋ねします。
あなたが水道水を飲まない理由はなんですか。(複数回答可)



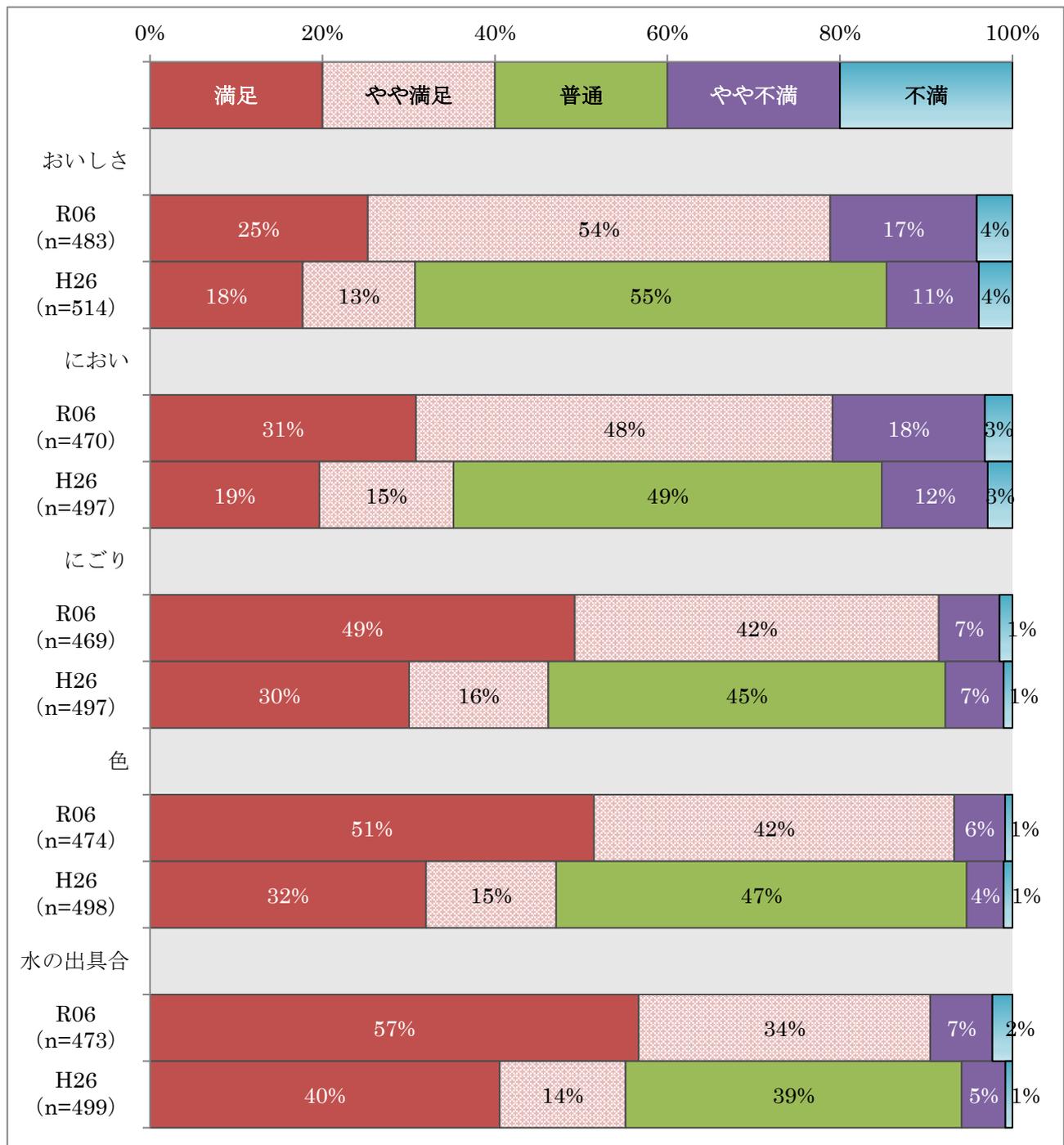
水道水を飲まない理由として、「おいしくないイメージ」(37%)、「水温」(33%)、「味」(28%) と回答した方が多くなりました。

漠然としたイメージで水道水を飲まない方が多いと思われます。

◆「その他」に記載の内容は次のとおり。

- ・水道管の老朽化
- ・塩素
- ・習慣
- ・炭酸水を好んで飲んでいるため
- ・子供が小さいため

Q8 水道水について、あなたの評価をお尋ねします。

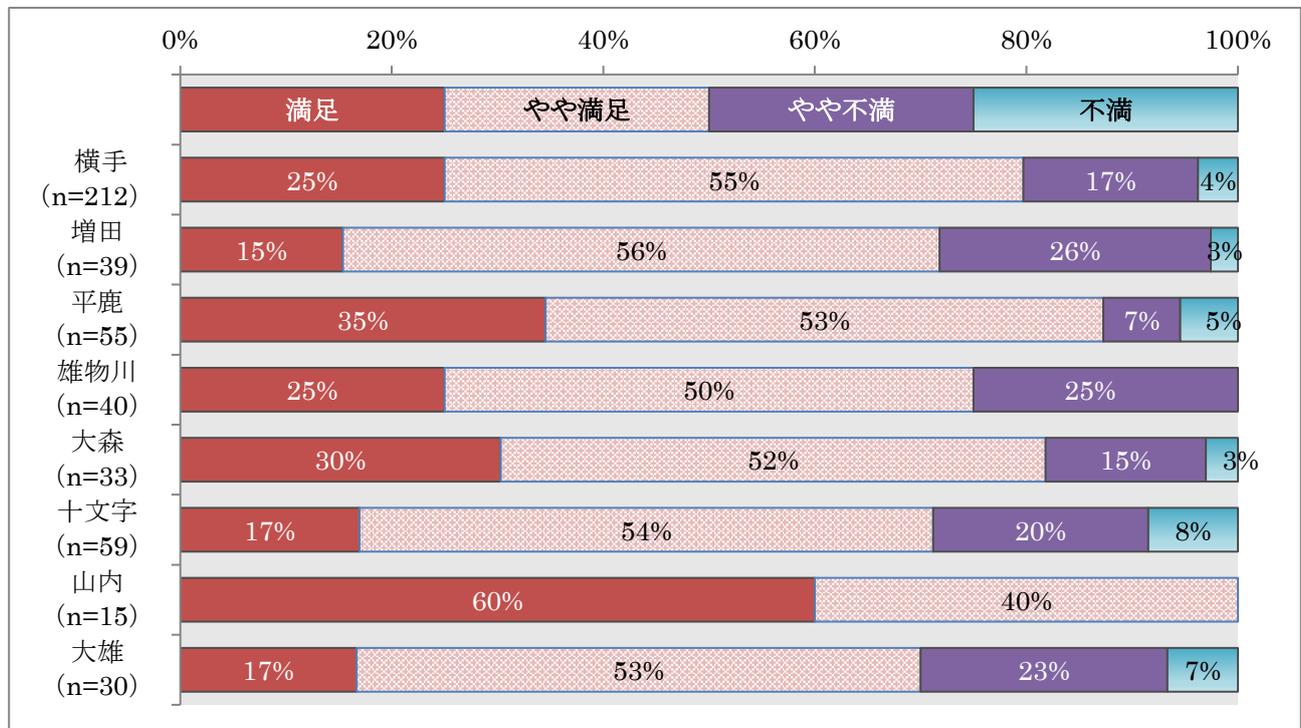


各項目について、全体の約8割以上の方が「満足」「やや満足」と回答しています。平成26年度の調査においては、「普通」という選択肢を設けていましたが、令和2年度の調査からこの選択肢は除いています。平成26年度と比較した場合、「おいしさ」「におい」に不満を感じている割合が高くなっています。

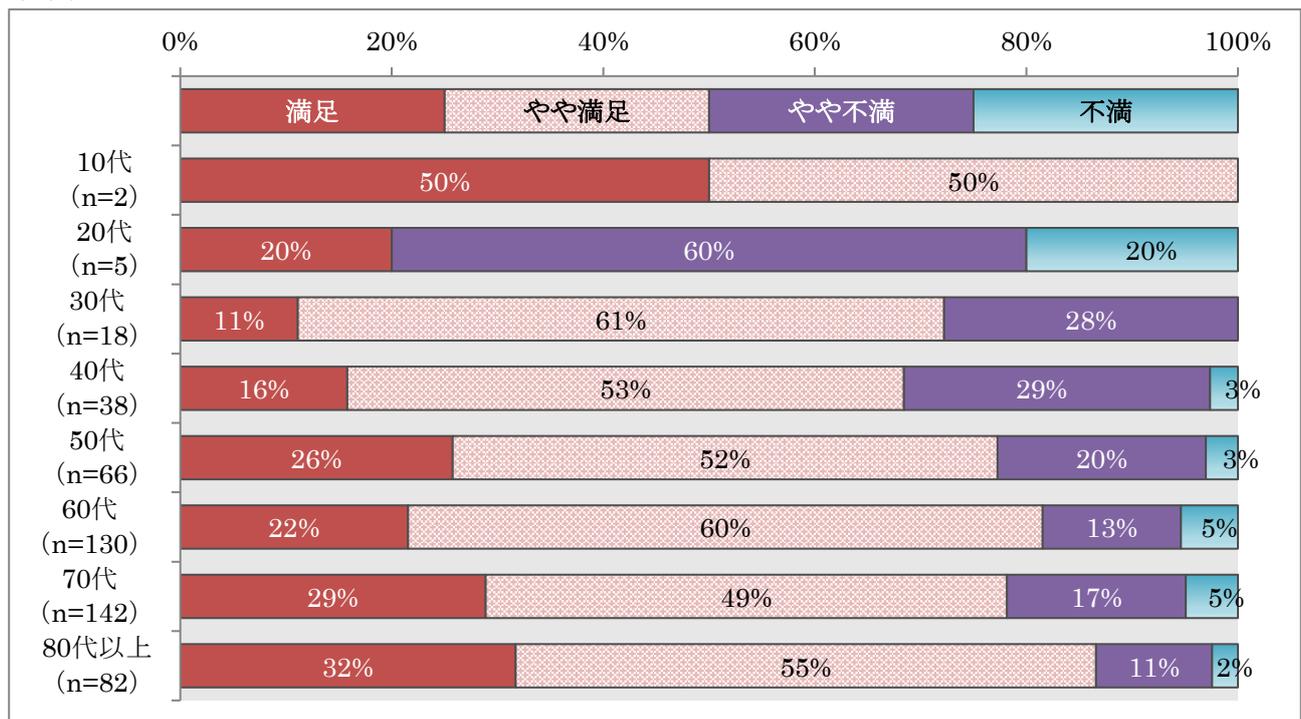
◇設問の【おいしさ】【におい】【にごり】【色】【水の出具合】の各項目の回答を地域別・年代別にみると次のようになっています。

【おいしさ】

◇地域別

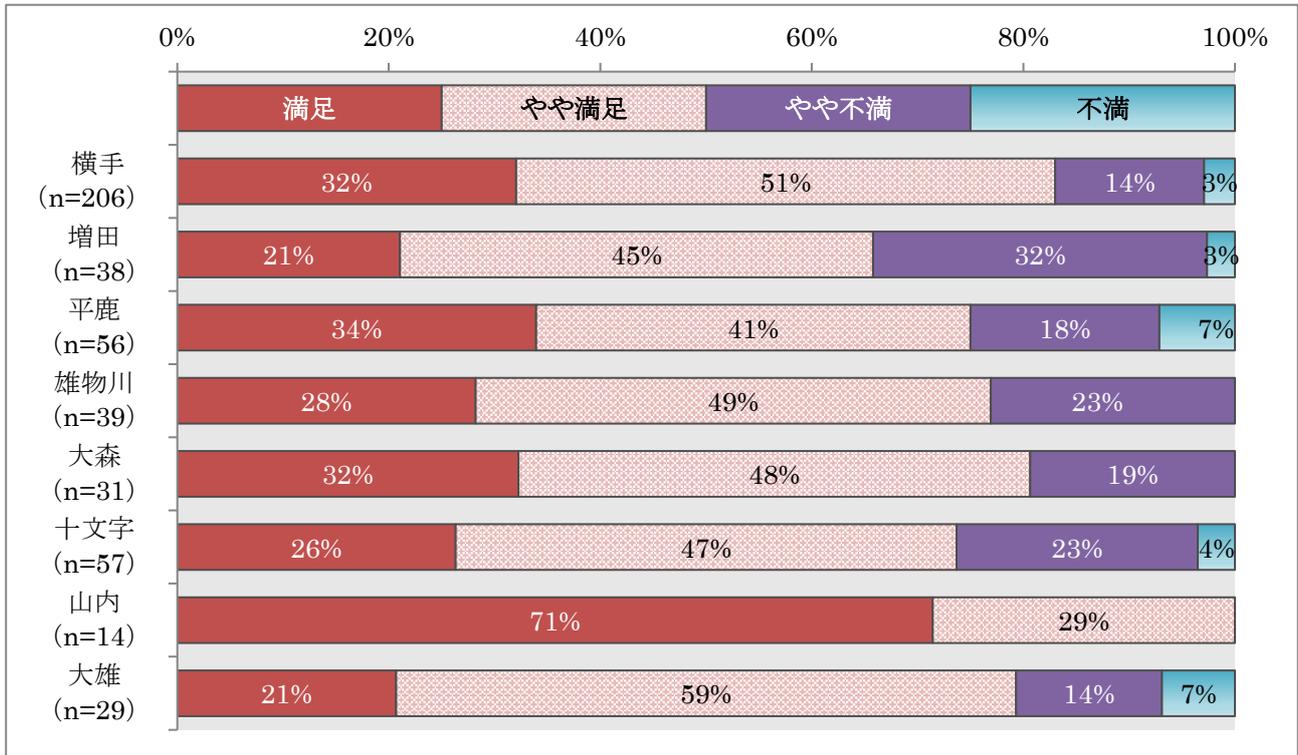


◇年代別

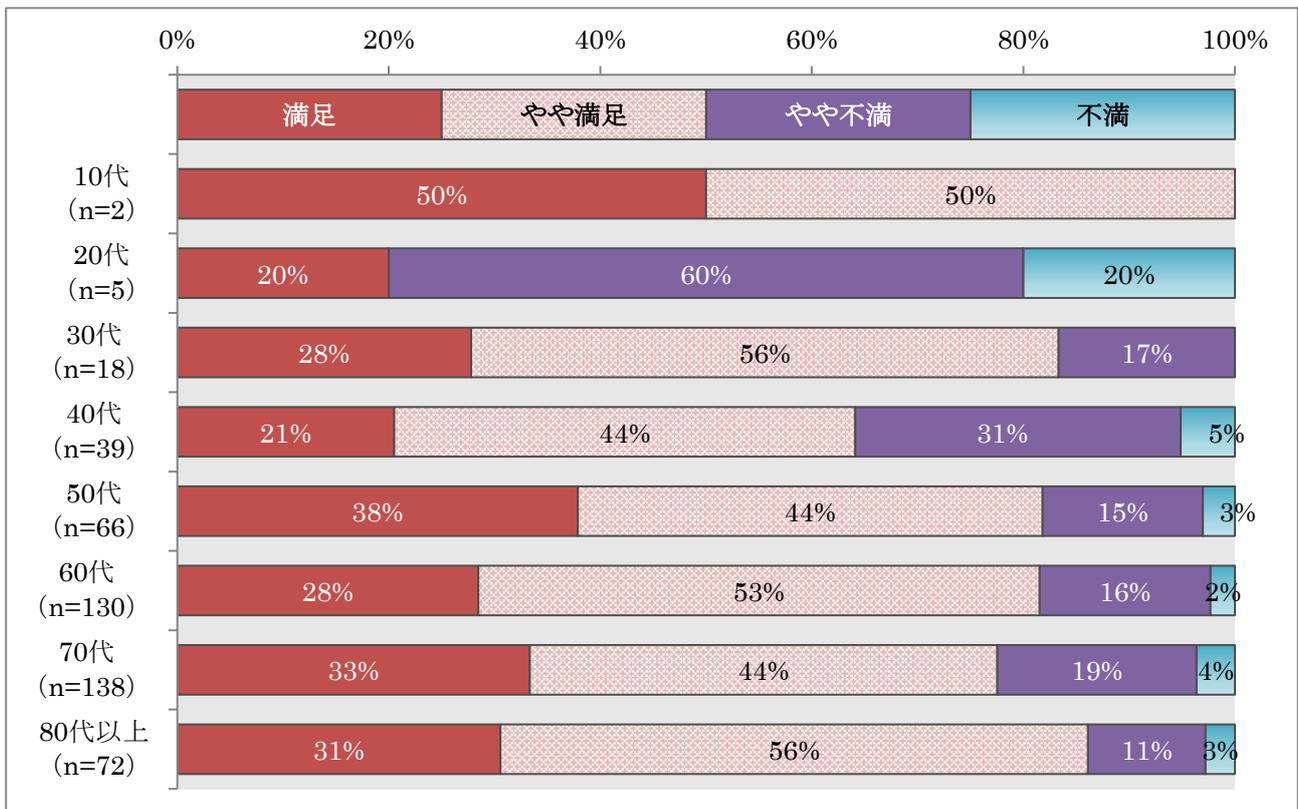


【におい】

◇地域別

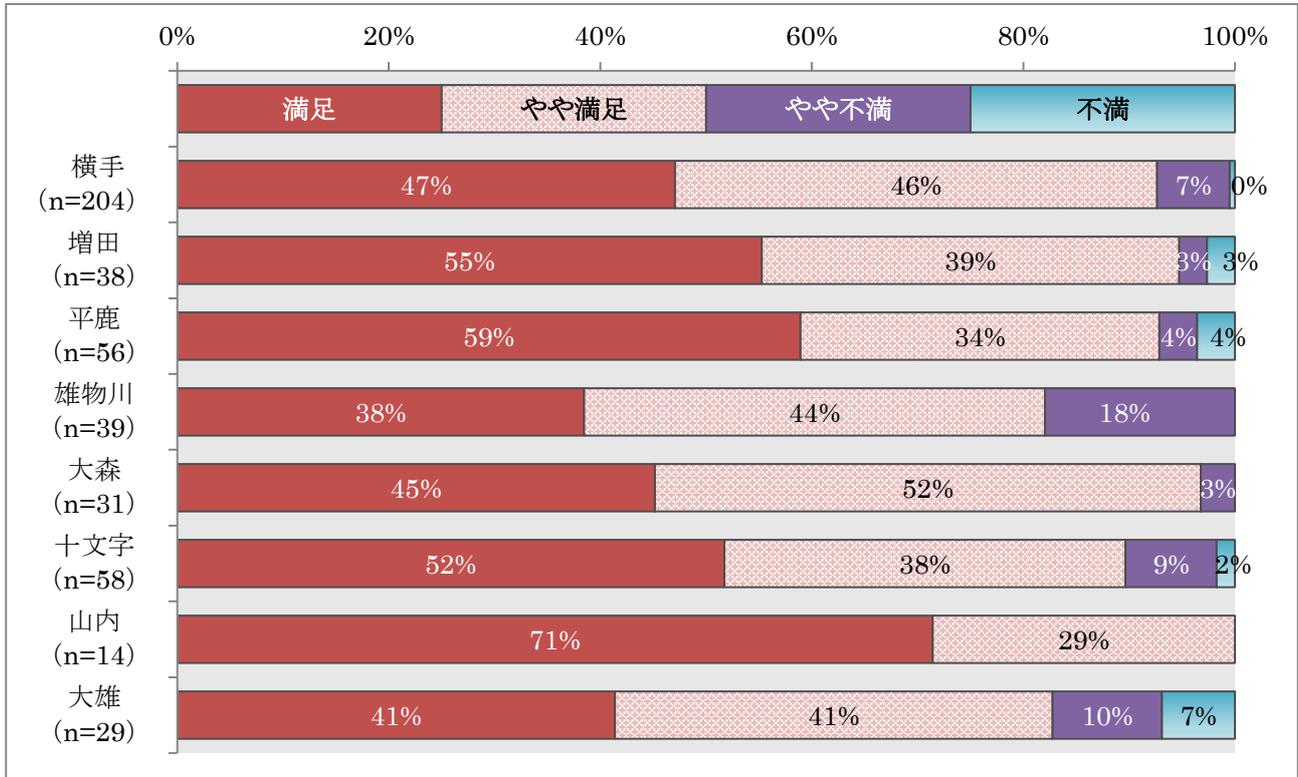


◇年代別

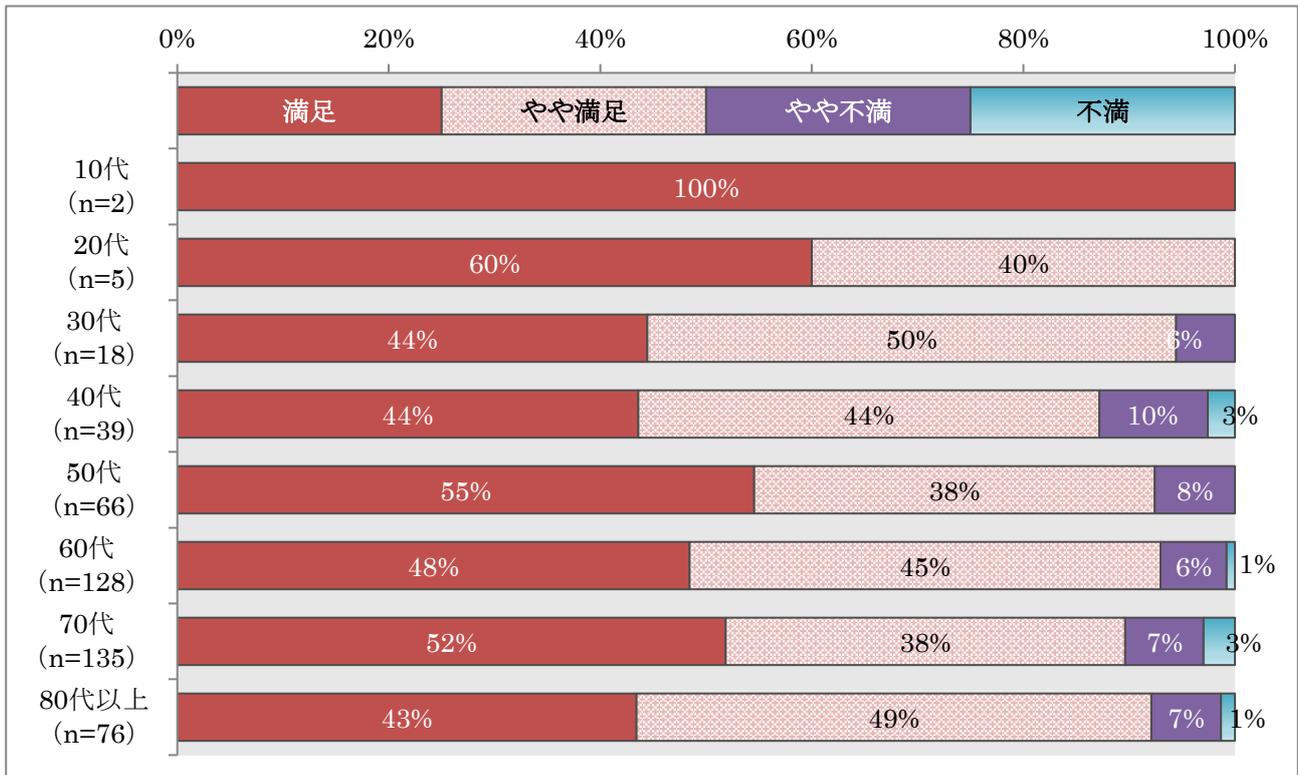


【にぎり】

◇地域別

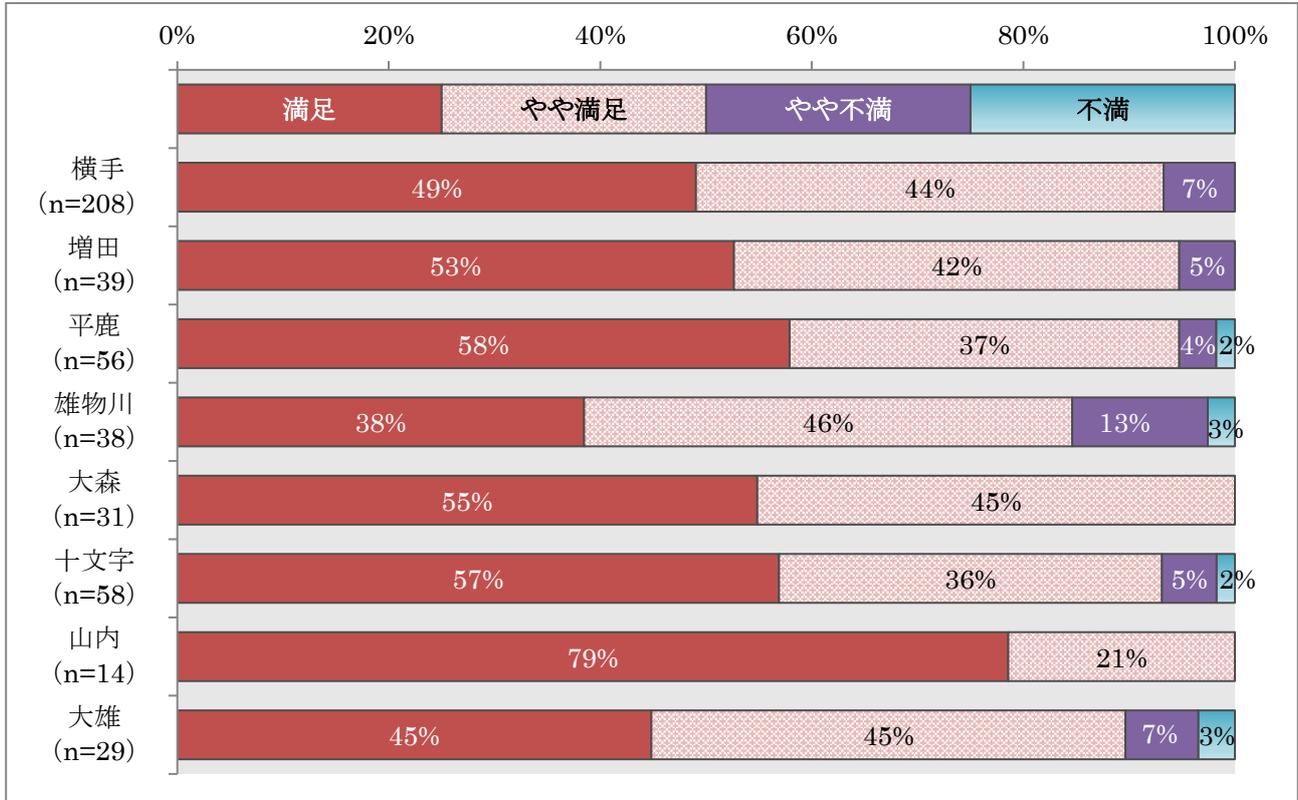


◇年代別

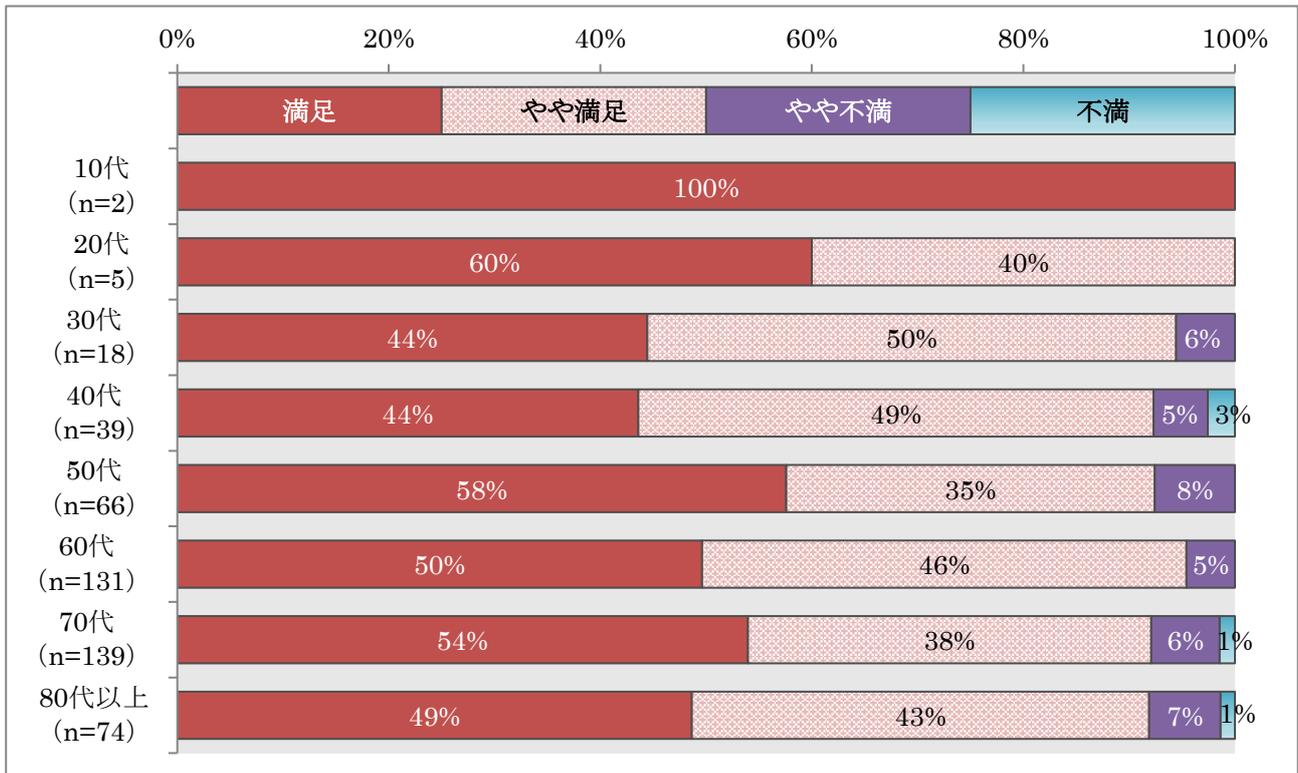


【色】

◇地域別

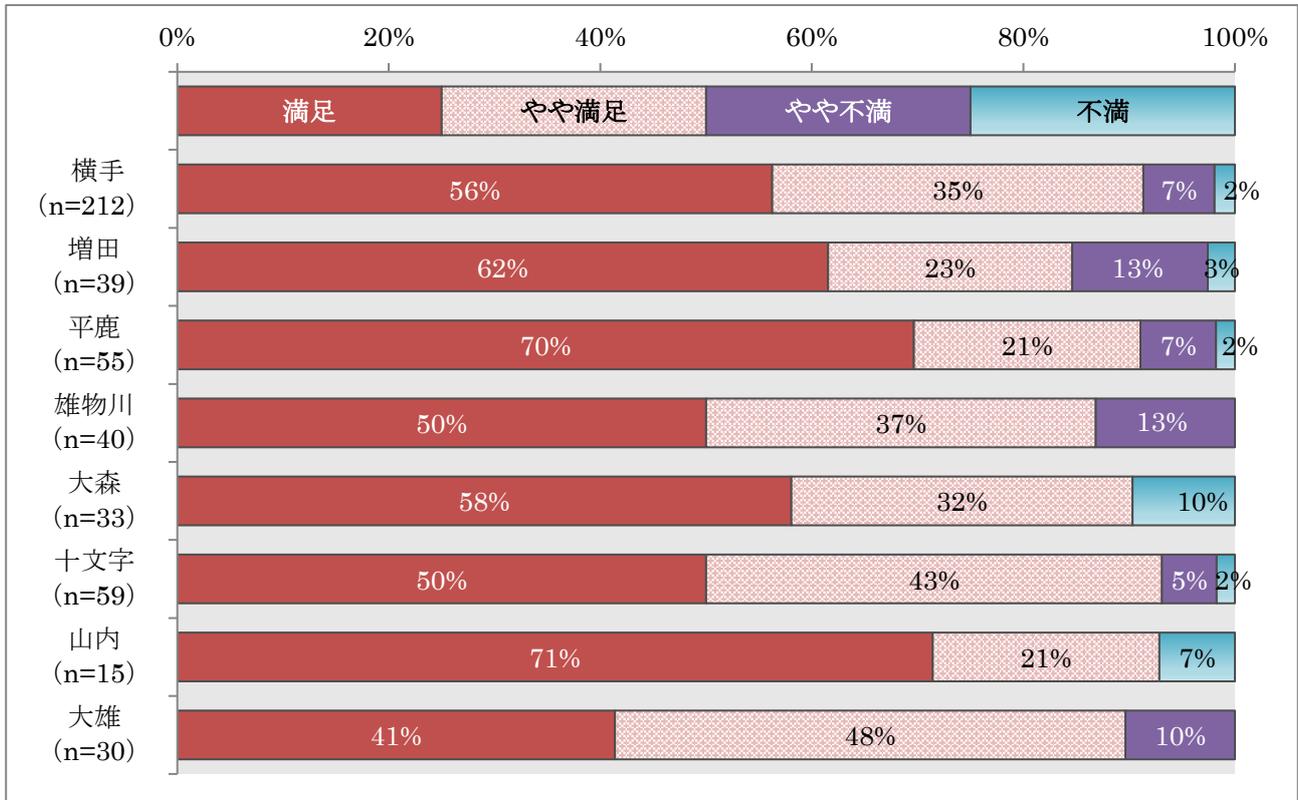


◇年代別

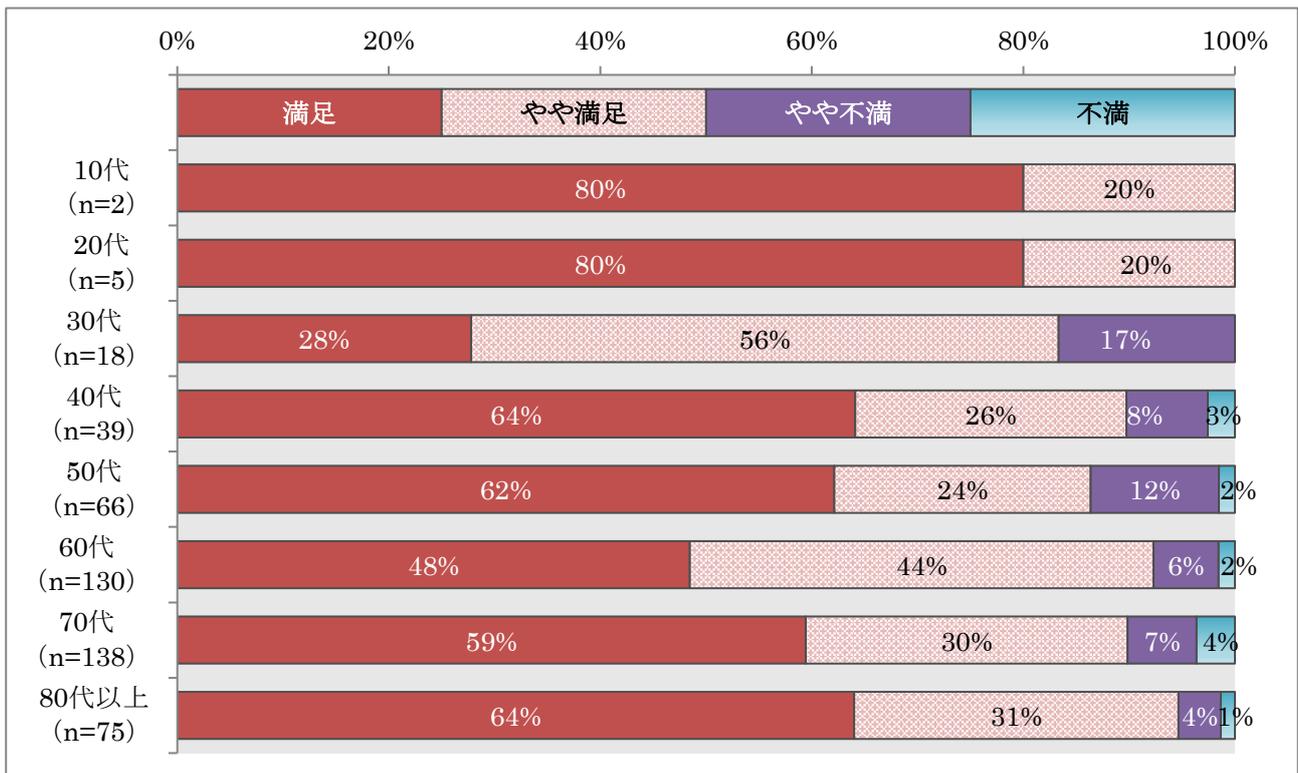


【出具合】

◇地域別

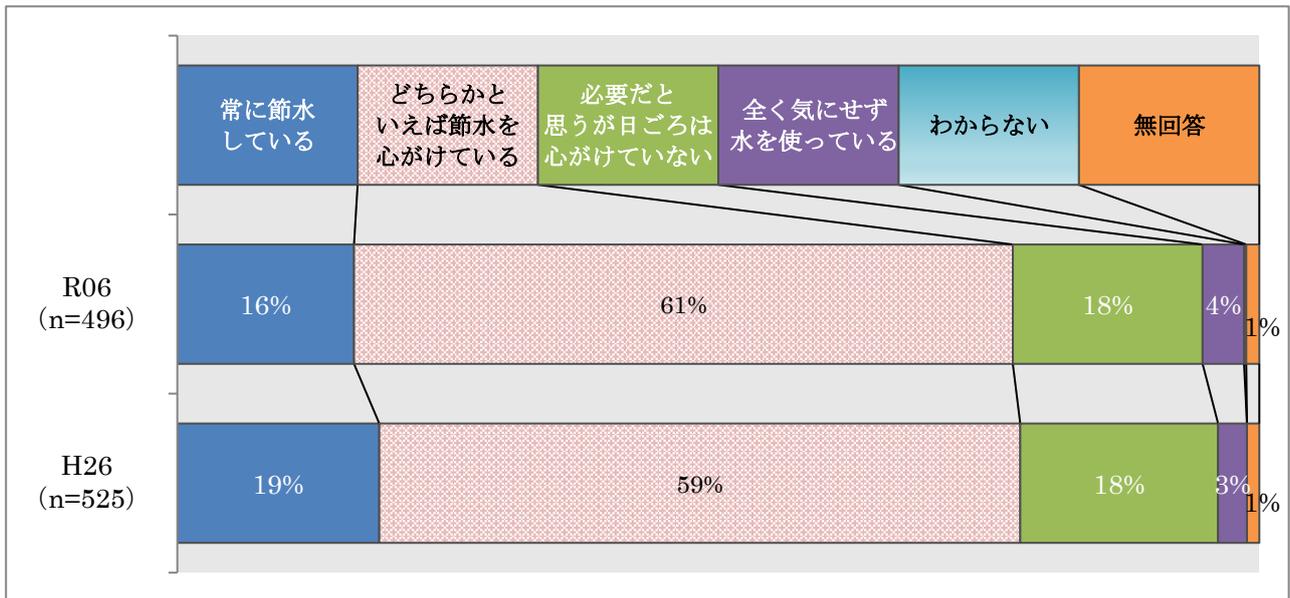


◇年代別



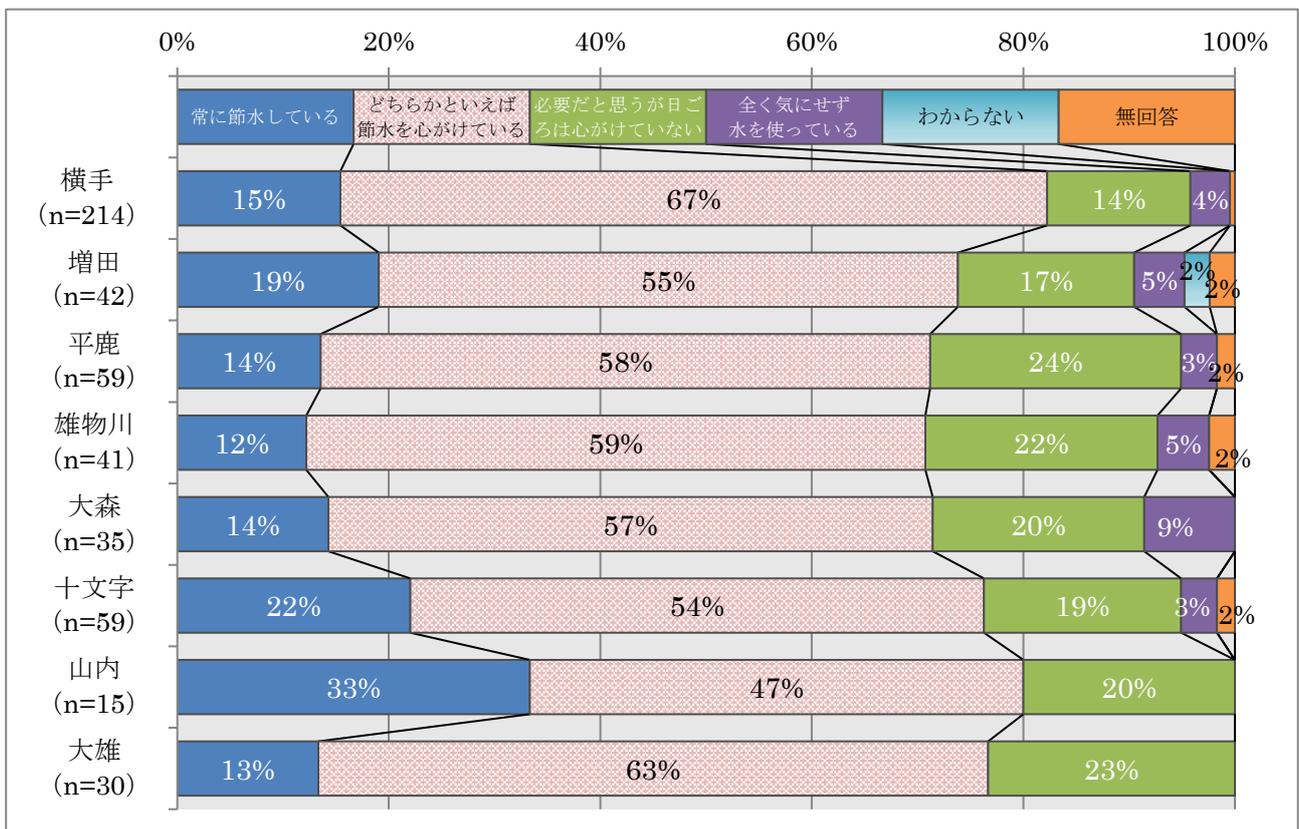
3. 節水について

Q9 あなたのご家庭では節水を心がけていますか。

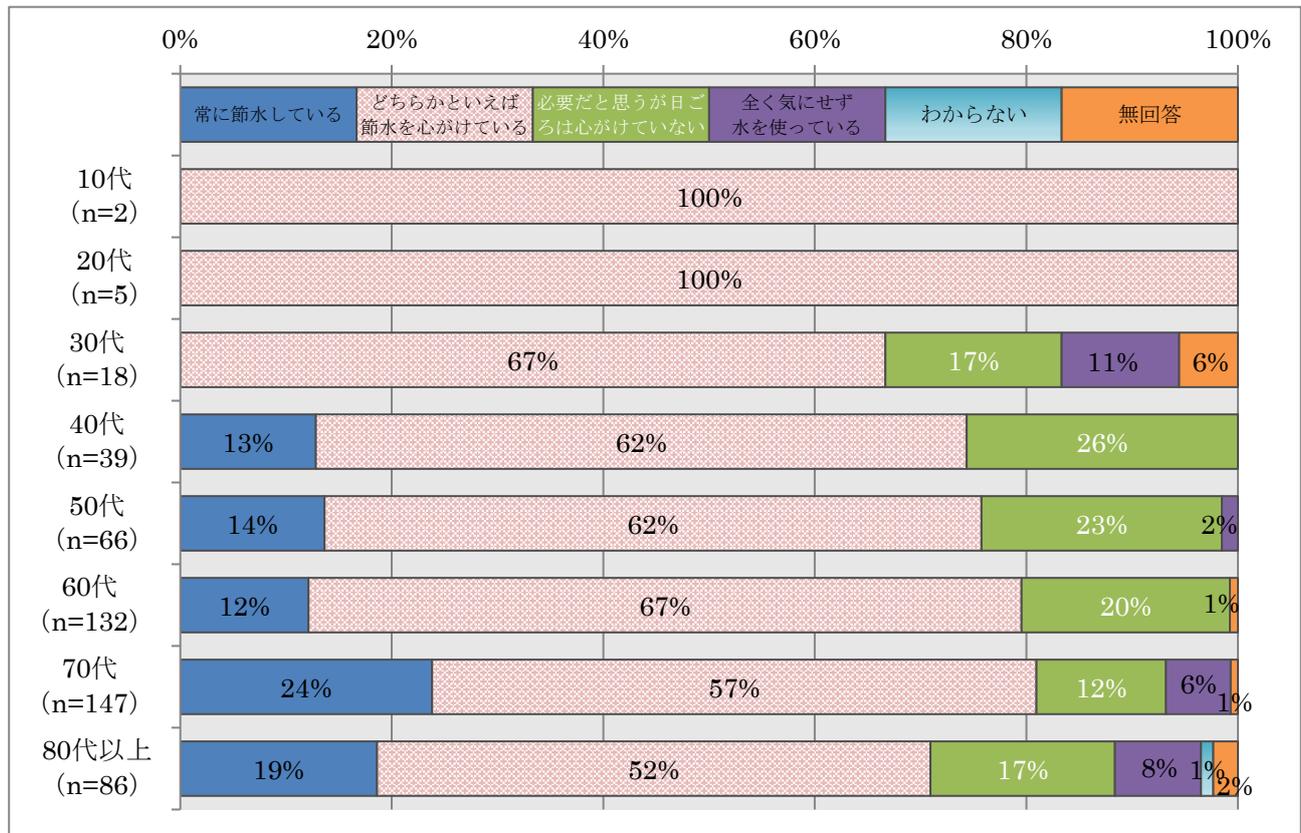


「常に節水している」「どちらかといえば節水を心がけている」と回答した方の割合が 77%となっています。節水の意識は平成 26 年度と比較しても、ほぼ変わっていません。

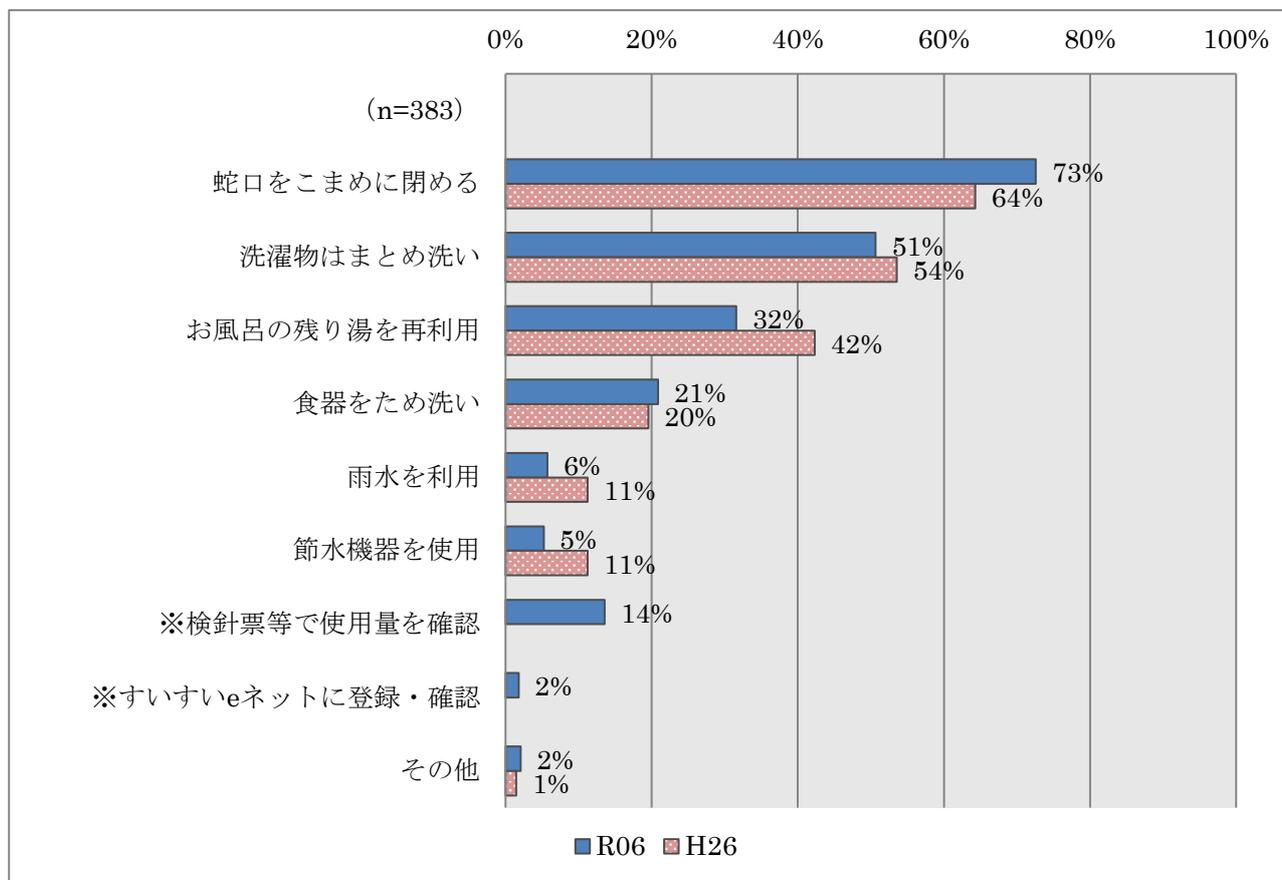
◇地域別にみると次のようになっています。



◇年代別にみると次のようになっています。



Q9-1 前記 Q9 の質問で、「1. 常に節水している」「2. どちらかといえば節水を心がけている」を選んだ方へお尋ねします。あなたのご家庭では、どのようにして節水していますか。（複数回答可）

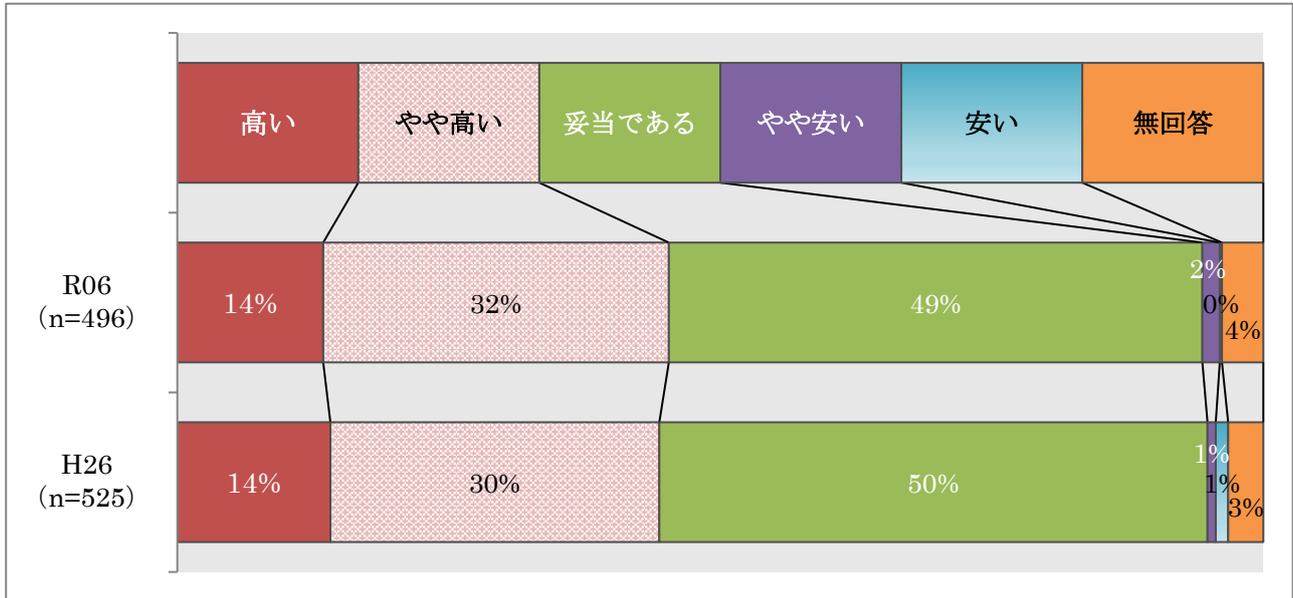


「常に節水している」「どちらかといえば節水を心がけている」と回答した方の節水方法については、「蛇口をこまめに閉めている」との回答が73%と最も多くなっています。これに続き、「洗濯物はまとめて洗い、洗濯の回数を減らしている」「お風呂の残り湯を再利用している」と回答した方が多くなりました。この傾向は平成26年度と同様です。

※平成26年度の調査では、「水道メーターや検針票を見て使用量を確認している」「すいすいeねつとへ登録し、前年、前月などの使用量と比較し、確認している」という選択肢を設けておりませんでした。

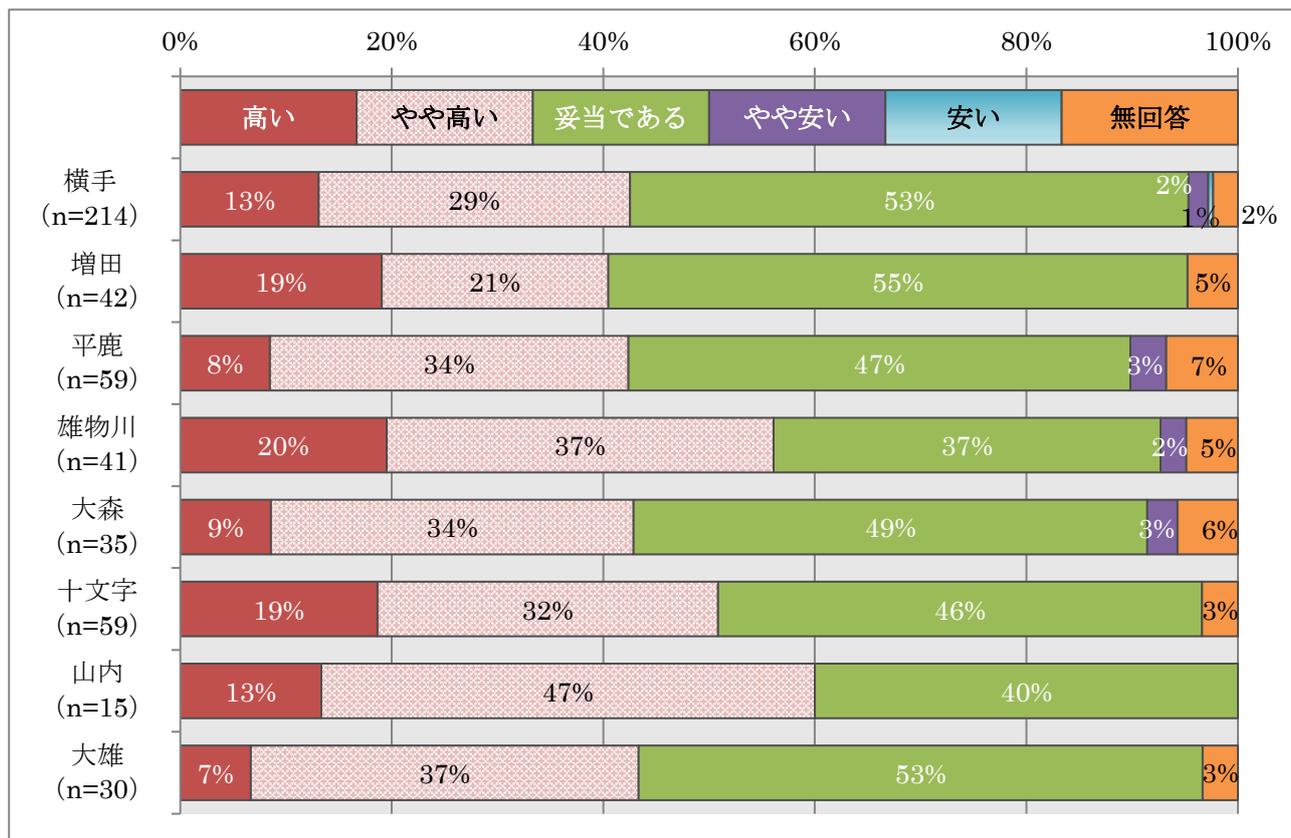
4. 水道料金について

Q10 現在の水道料金についてどのように感じていますか。

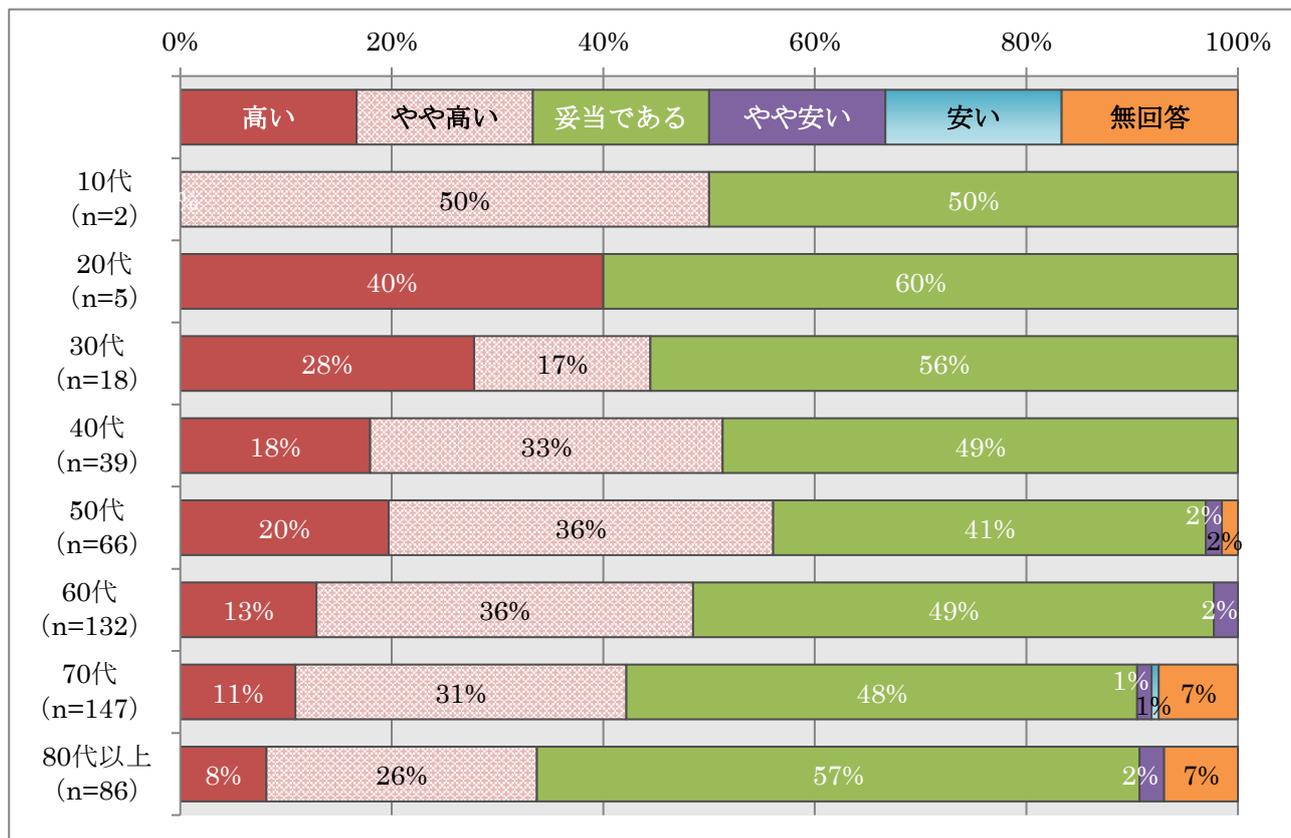


水道料金の基準は「妥当である」と回答した方が約半数となっており、一定の理解が得られていると思われます。平成 26 年度と比較しても、それぞれの回答割合はほぼ変わっていません。

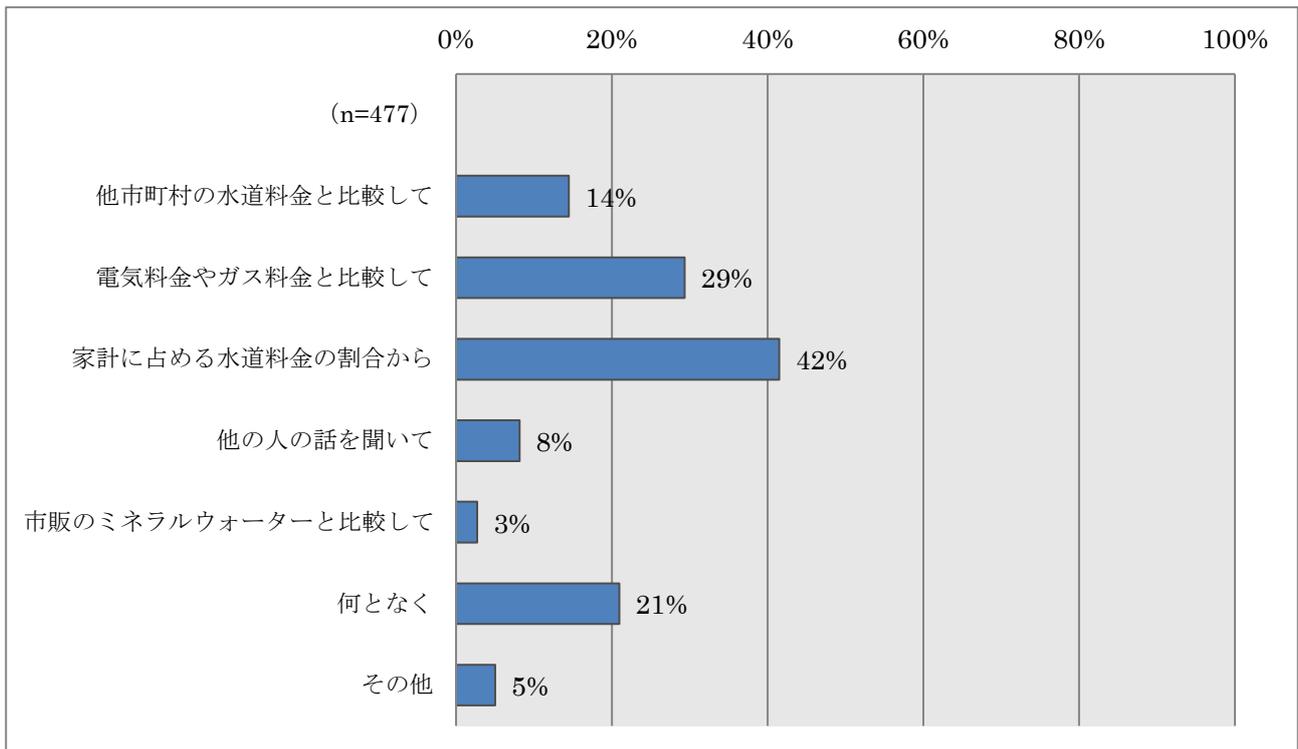
◇地域別にみると次のようになっています。



◇年代別にみると次のようになっています。



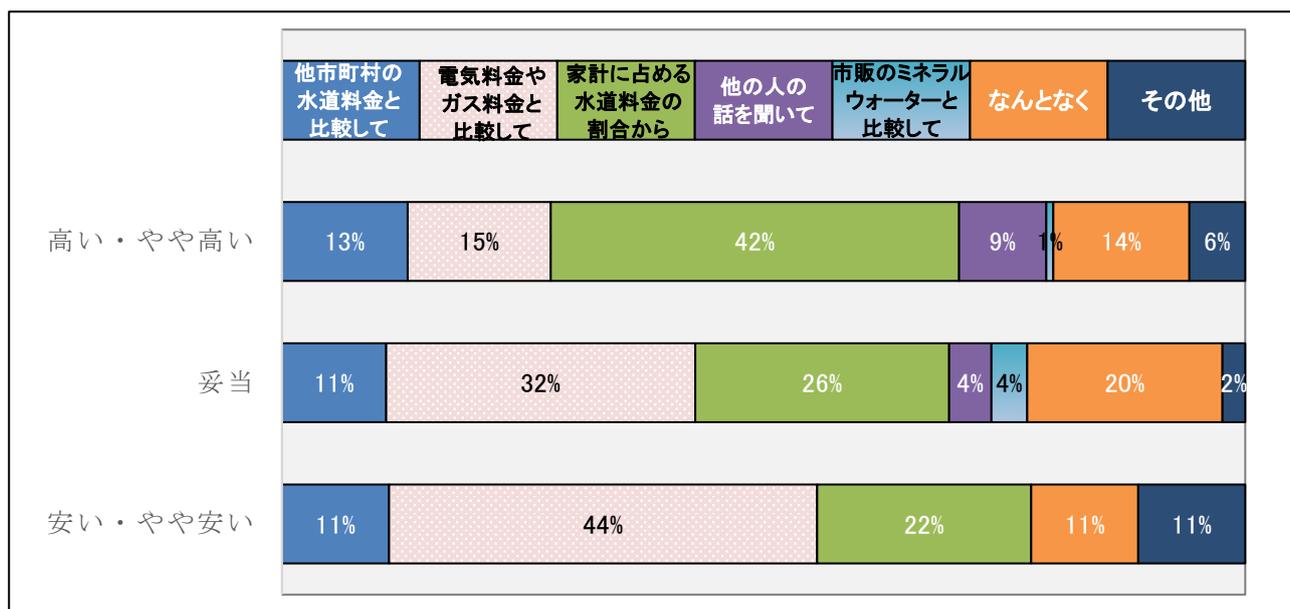
Q11 あなたはどのような理由で前記 Q10 の回答をされましたか。(複数回答可)



「家計に占める水道料金の割合から」と回答した方の割合が 42%と高くなっています。次いで、「電気料金やガス料金と比較して」の回答割合が高くなっており、ここ数年の調査では同じような回答割合となっています。

なお、「他市町村の水道料金と比較して」と回答した方が 14%となっています。県内で比較すると、25 市町村の中では高いほうから 12 番目の料金水準（口径 13 mm、使用水量 20 m³の場合）となっています。

◇ご意見別にみると次のようになっています。



◆「その他」に記載の内容は次のとおり。

「高い」「やや高い」と回答された方

- ・3年前まで井戸水使用していた
- ・7人家族で使用するため
- ・以前の料金と比較して
- ・自身の収入が少ない
- ・水は安いイメージ
- ・二人暮らしにしては高い
- ・他の場所でも使用しているが、住んでいないため殆ど使用していないのに高い
- ・浄化槽の管理費も含めれば
- ・市町村合併後
- ・集落の水道料金と比較して
- ・過去と比較して
- ・上下水道の料金なので
- ・上水道がおいしくない

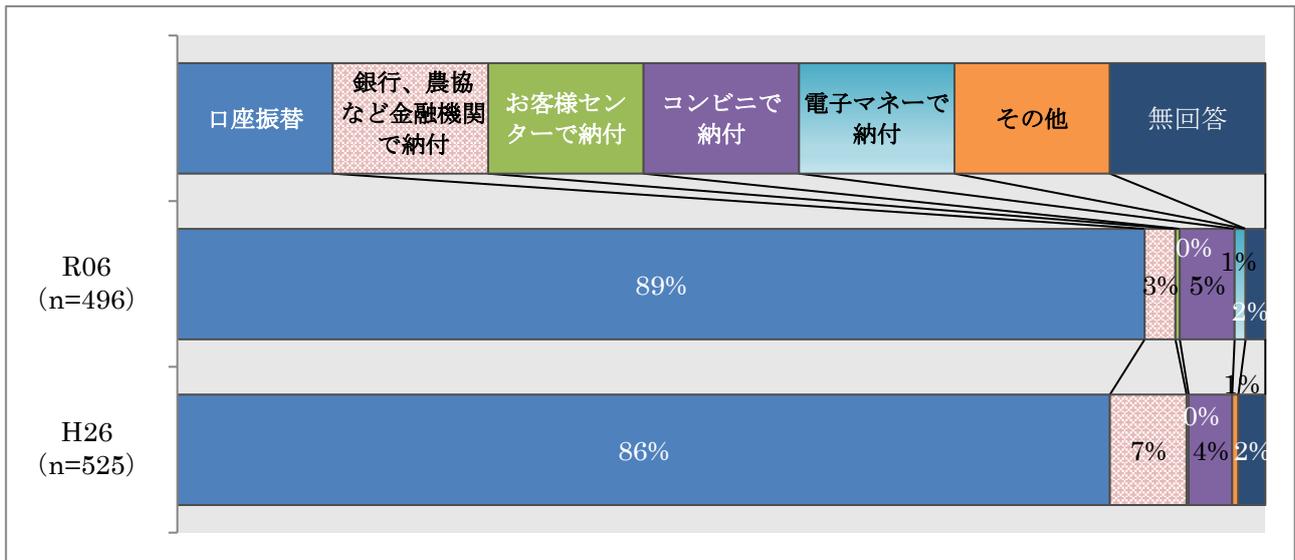
「妥当」と回答された方

- ・携わっている方々のお陰と感謝している
- ・夏場水を使用することが多いので
- ・今は何でも物価高なので
- ・安心を得るための手数料としては決して高くはないと思う
- ・必要であり大切
- ・赤字抑制の観点から

「安い」「やや安い」と回答された方

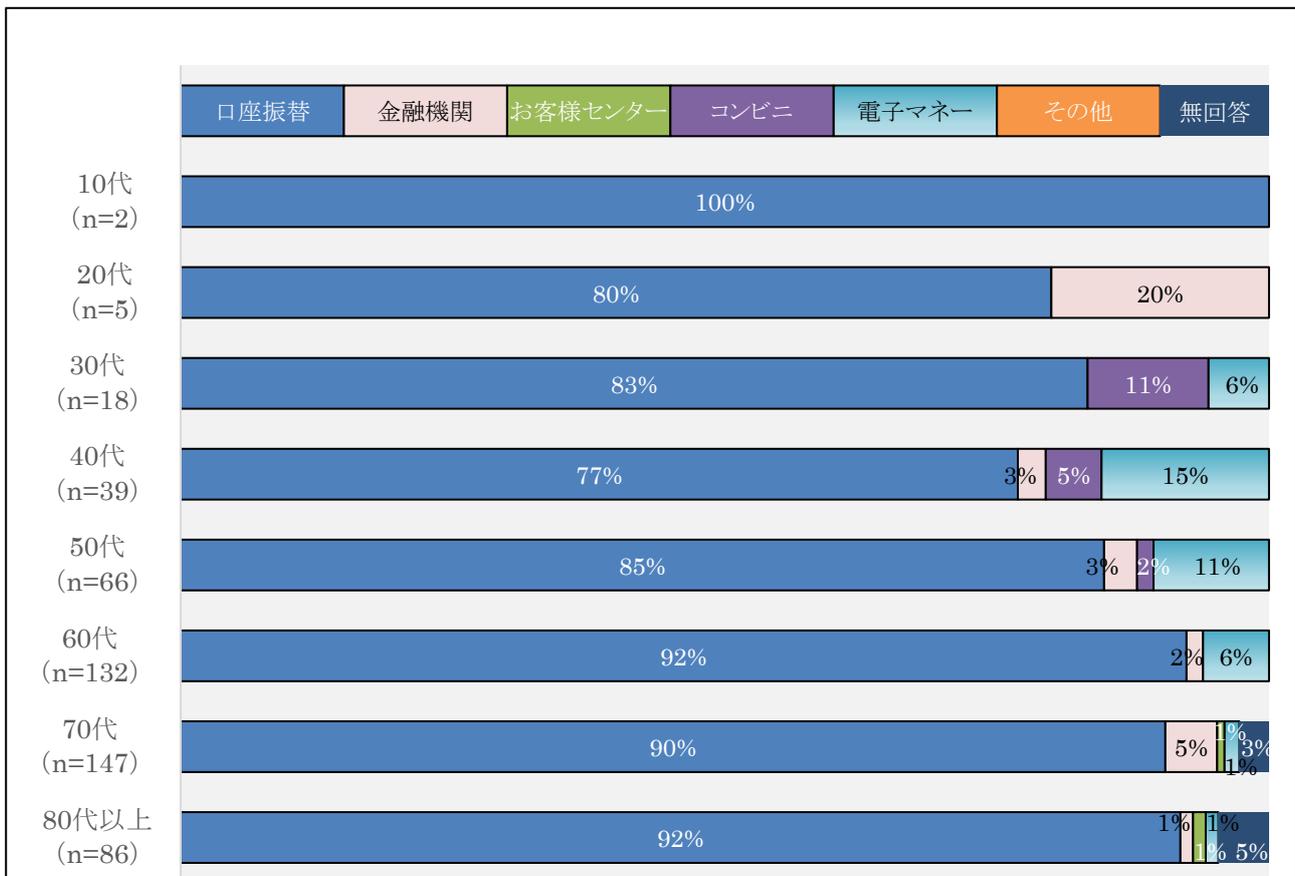
- ・アパートと比べて

Q12 現在、水道料金はどのような方法でお支払いいただいておりますか？



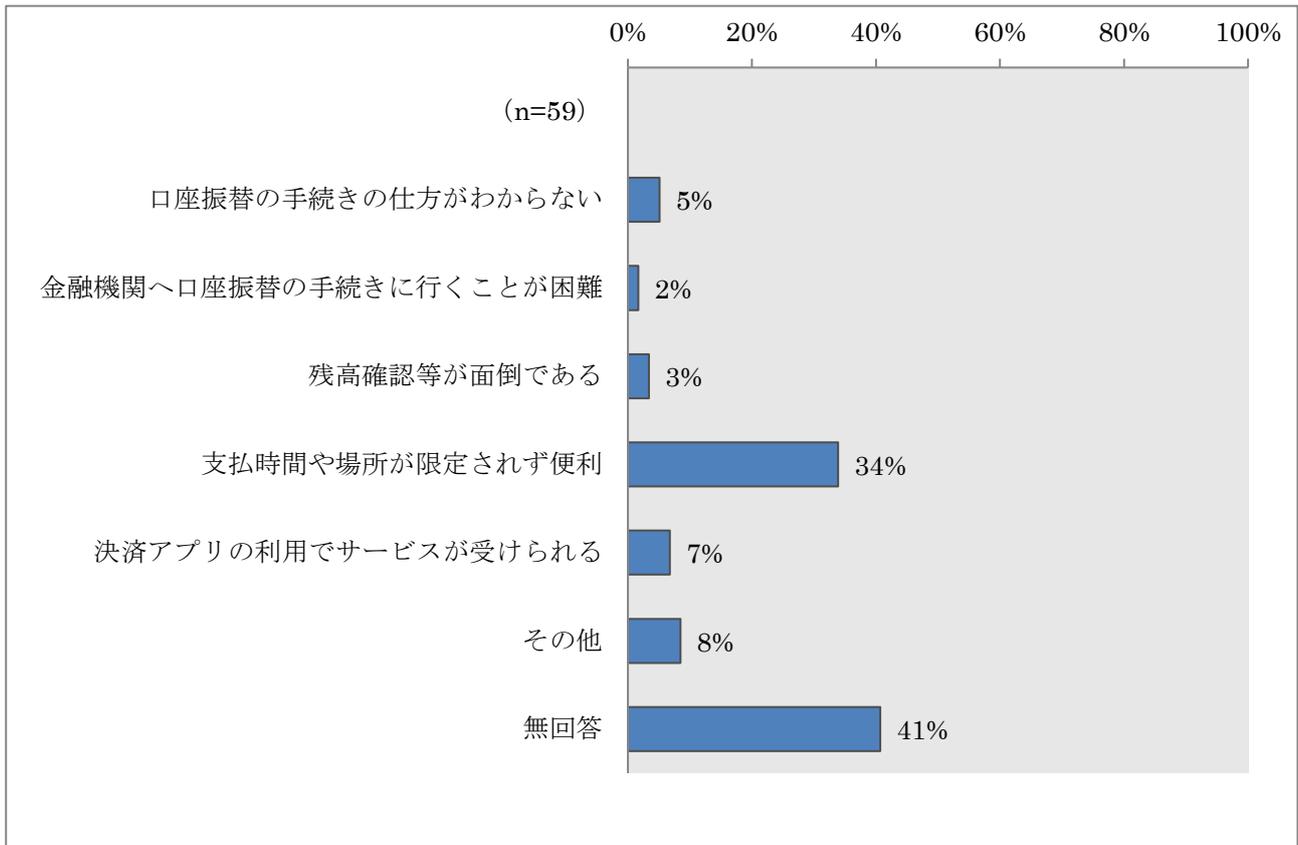
電子マネー納付は平成 30 年度から取り扱っているため、平成 26 年度調査には入っておりません。

◇年代別にみると次のようになっています。



「口座振替」の選択割合が全体としては多いですが、30代から50代では「コンビニ」や「電子マネー」の割合が目立っています。

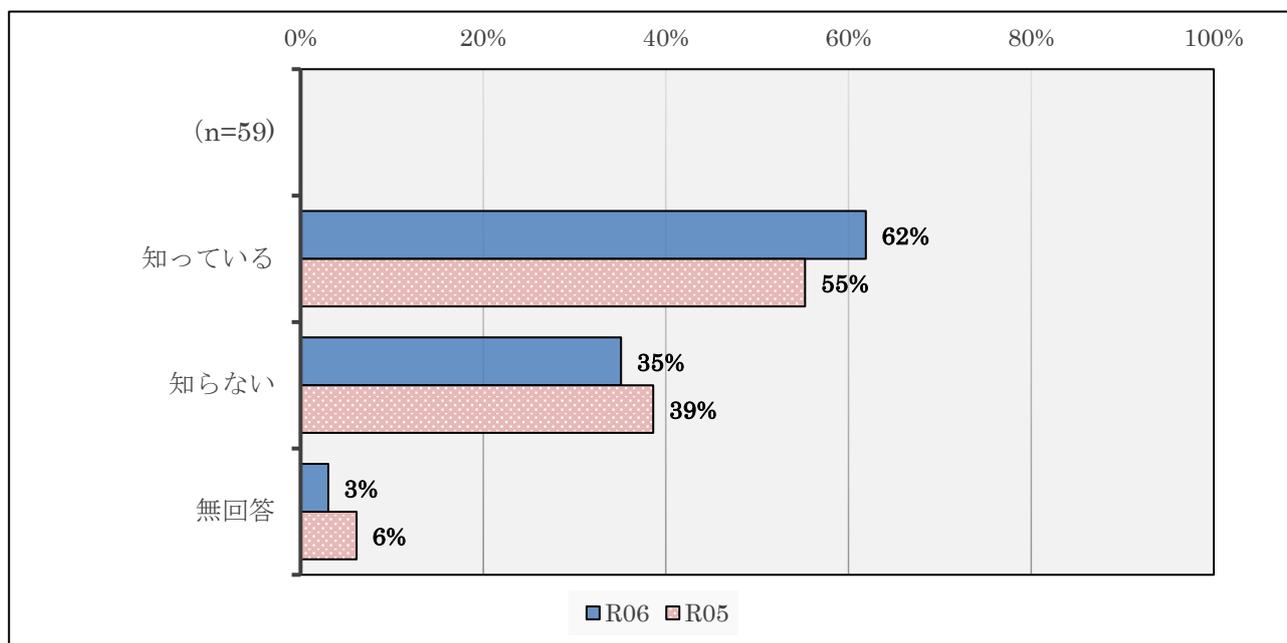
Q12-1 前記 Q12 の質問で「1. 口座振替」以外を選んだ方へお尋ねします。選択された納付方法を利用されているのは、どのような理由からでしょうか。(複数回答可)



◆ 「その他」に記載の内容は次のとおり。

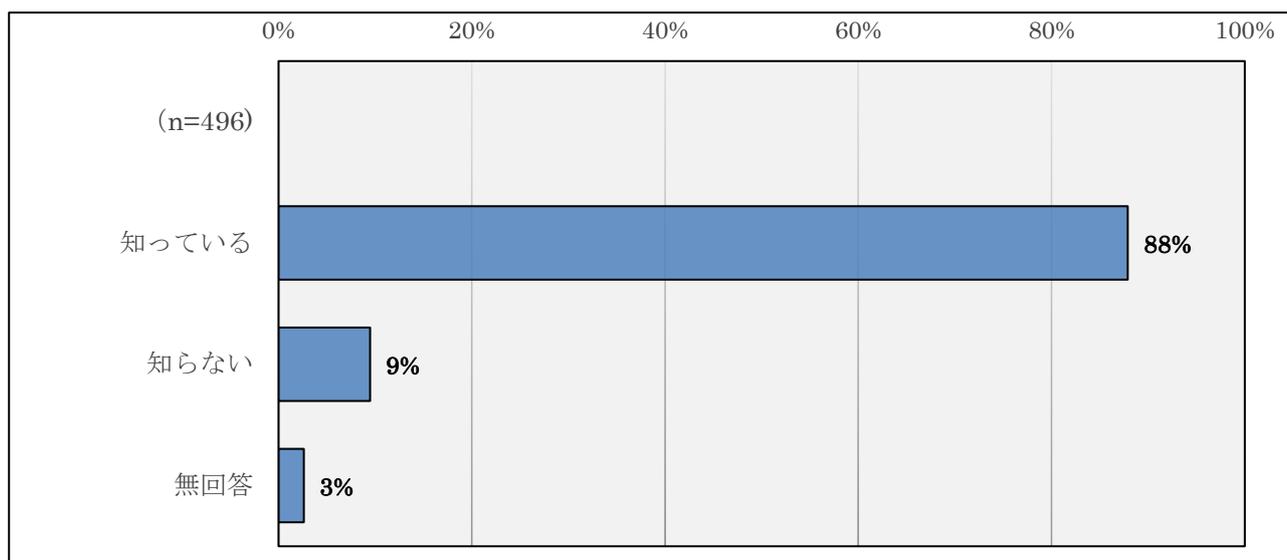
- ・口座振替ができることを知らなかった
- ・先月迄振込だったが、支払い名義変更を検討中で一時的にコンビニ払いにしている

Q13 令和3年5月から水道などのメーター検針を、原則「毎月」から「隔月(2か月に1回)」に変更しています。これに伴い、納付書によるお支払いの場合は、2か月間の料金を2か月に1回、一括でお支払いいただいておりますが、口座振替の場合は料金を2分割し、毎月の引落とし(お支払い)としています。このことをご存じですか。



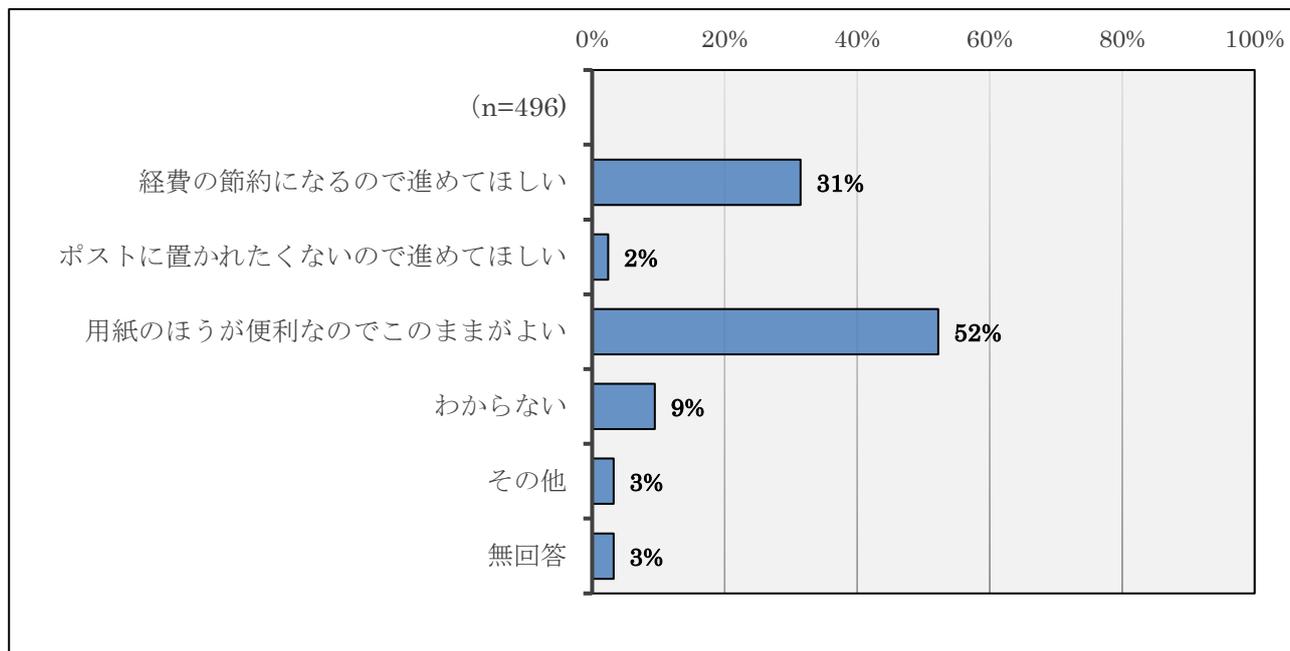
前年度と比較すると、「知っている」と回答した方の割合が増えていますが、引き続き周知を図ってまいります。

Q14 市のホームページや「水道だより」でお知らせしていますが、冬期間(11月~3月)は検針を行わず、推定水量で料金を請求し、4月下旬から5月初めの検針で精算をしていることをご存じですか。



9割近くの方が知っておりますが、引き続き周知を図ってまいります。

Q15 検針結果を検針票の用紙を使用せず、パソコンやスマートフォン等の画面で確認できるサービスを調査検討しております。検針票のペーパーレス化について、どうお考えですか。



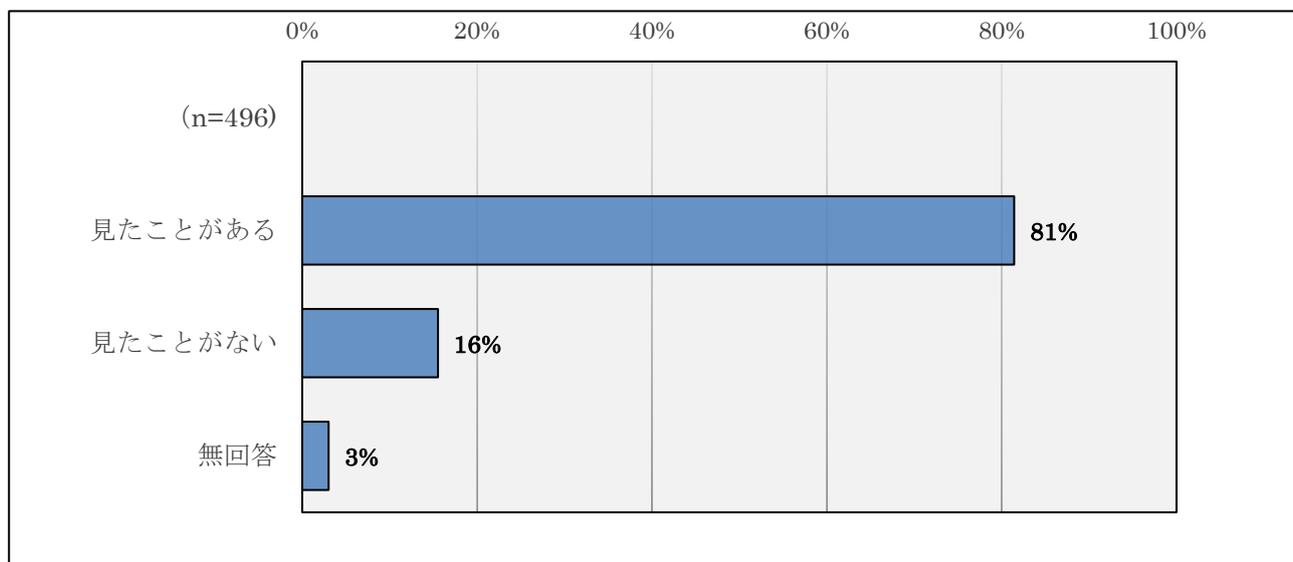
現在のところ、一律に検針票をペーパーレス化することは考えておりませんが、利用者の方々のニーズに合った対応ができないか検討しているところです。これまで通り、紙ベースの検針票が良いと回答した方が半数以上を占めておりますので、基本的には紙ベースの検針票を継続していきたいと考えています。

◆「その他」に記載の内容は次のとおり。

- ・業務負担・効率化のため進めてほしい
- ・webに繋ぐ機器がなく、このままが良い
- ・自分をもっと歳をとったり死んだときに、スマホ・webでは誰もわからないのは迷惑をかけるのでこのままがいい
- ・機械の操作が分からない
- ・パソコンやスマートフォンを持っていない、使えない
- ・時代の流れだから
- ・ペーパーレスになると老人には知るすべがない
- ・確認方法を教えてほしい
- ・WEBで確認している為、ペーパーレスで問題ない

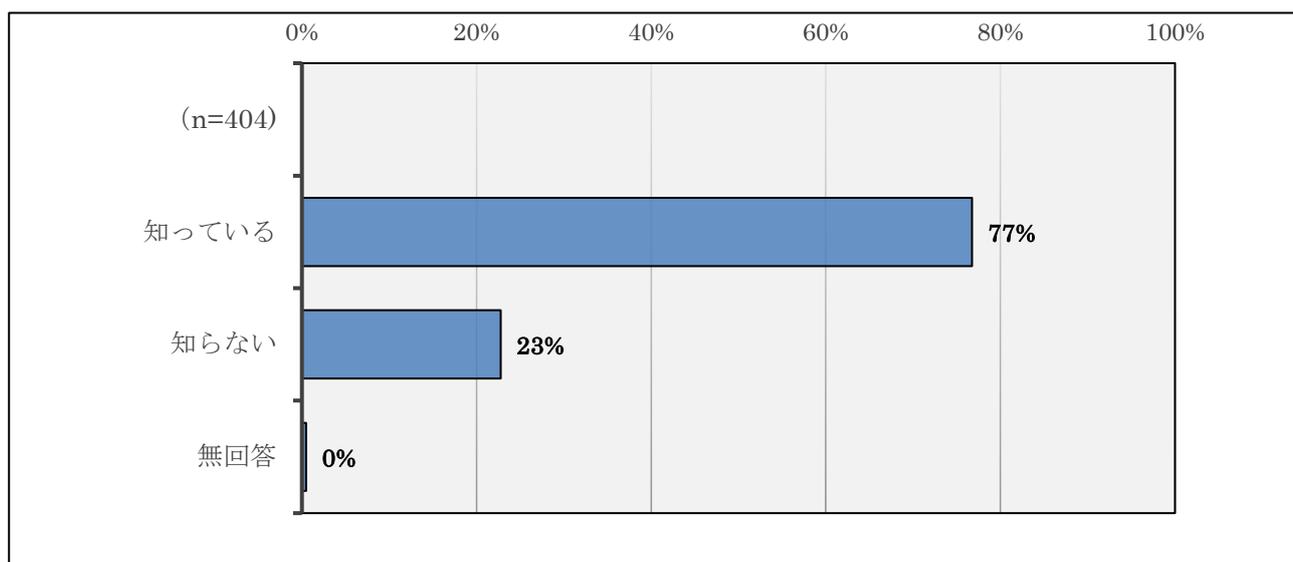
5. 広報活動について

Q16 水道事業に関するお知らせについて、『水道だより』を年2回発行し、加入世帯にお配りしておりますが、ご覧になったことはありますか。



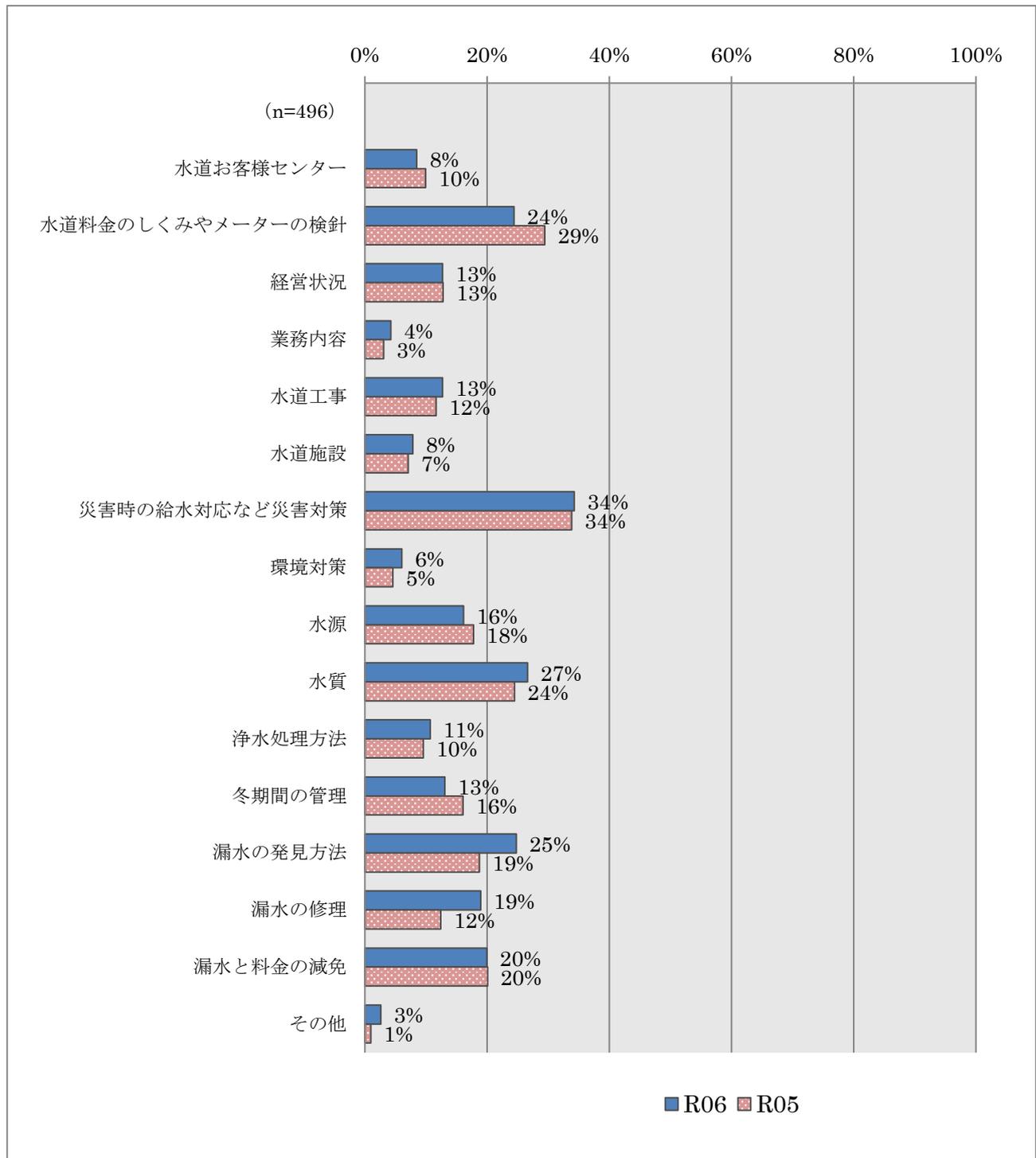
約8割の方が「知っている」と回答しています。紙面に目を通してもらえるよう、今後も工夫していきます。

Q16-1 前記 Q16 の質問で「1. 見たことがある」を選んだ方へお尋ねします。『水道だより』には宅内の水道管(給水管)の凍結防止の仕方や、漏水の確認方法についても掲載していますがご存じですか。



8割弱の方が「知っている」と回答しています。水道管の凍結や漏水は利用者の方々に直接負担がかかるものですので、目や耳に留まりやすい情報発信に努めます。

Q17 『水道だより』に掲載する内容について、もっとよく知りたいと思うことは何ですか。(複数回答可)

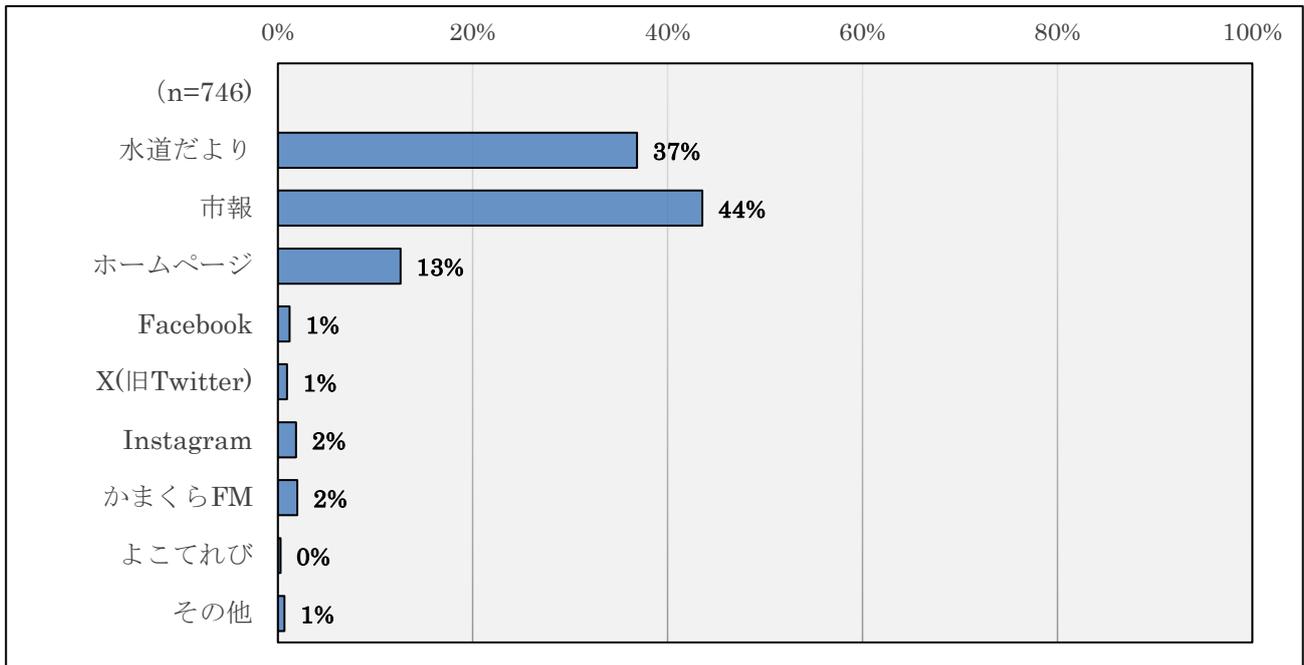


「災害時の給水対応など、災害対策に関する取り組み」(34%)、「水質に関すること」(27%)、「漏水の発見方法」(25%)、の順で関心が高くなっています。

◆ 「その他」に記載の内容は次のとおり。

- ・全てのことが大事なことなので、その時々にも何回でも特集して順に載せてほしい
- ・水道だよりを読まないから
- ・現行で良い

Q18 水道事業に関するお知らせについて、どの媒体であれば情報を収集しやすいですか。(複数回答可)



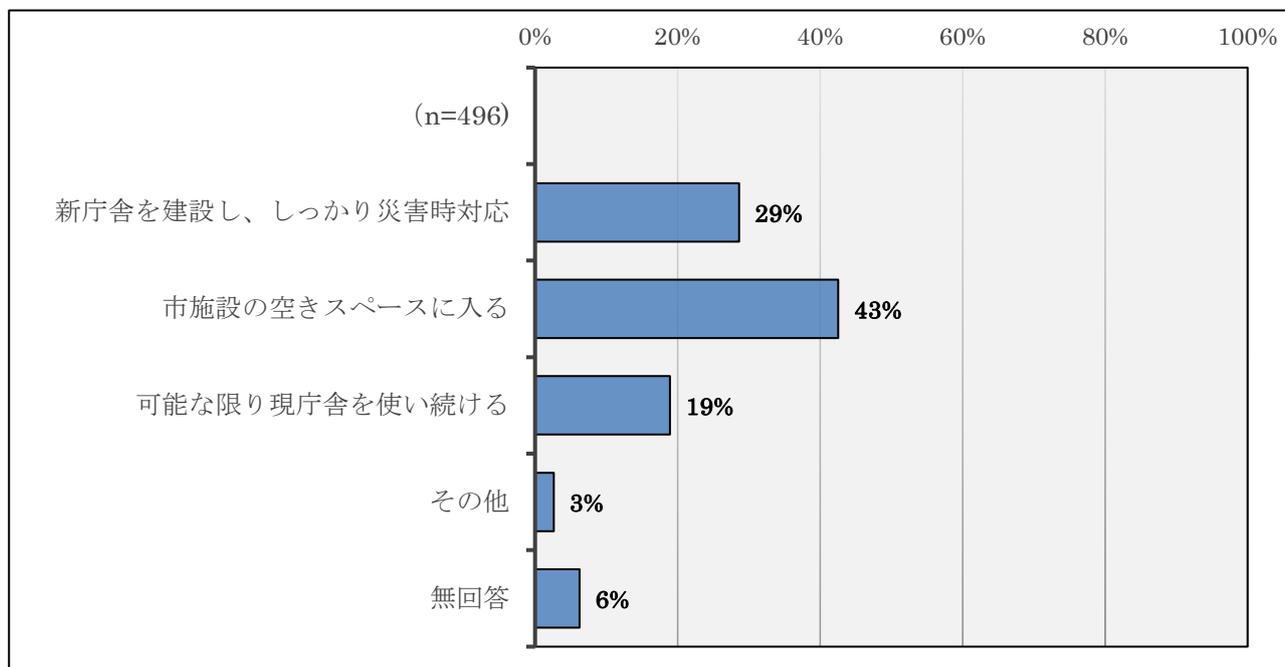
「水道だより」(37%)より「市報」(44%)からの方が情報を収集しやすいという回答が多い状況でした。「水道だより」がより身近な媒体となるよう取り組んでいきます。

◆「その他」に記載の内容は次のとおり。

- ・MINEBA
 - ・関心薄い
 - ・水道だよりを電子化してほしい
- ※ 市のホームページに掲載していますので、ご利用ください。

6. 災害対策について

Q19 水道庁舎は災害時に水道の復旧等を迅速に指揮する拠点となりますが、旧耐震基準により建築された建物であり、耐用年数を超え老朽化が進んでいるため、大規模な地震の際は倒壊のおそれがあります。水道庁舎は今後どのようにしたらよいと思いますか。

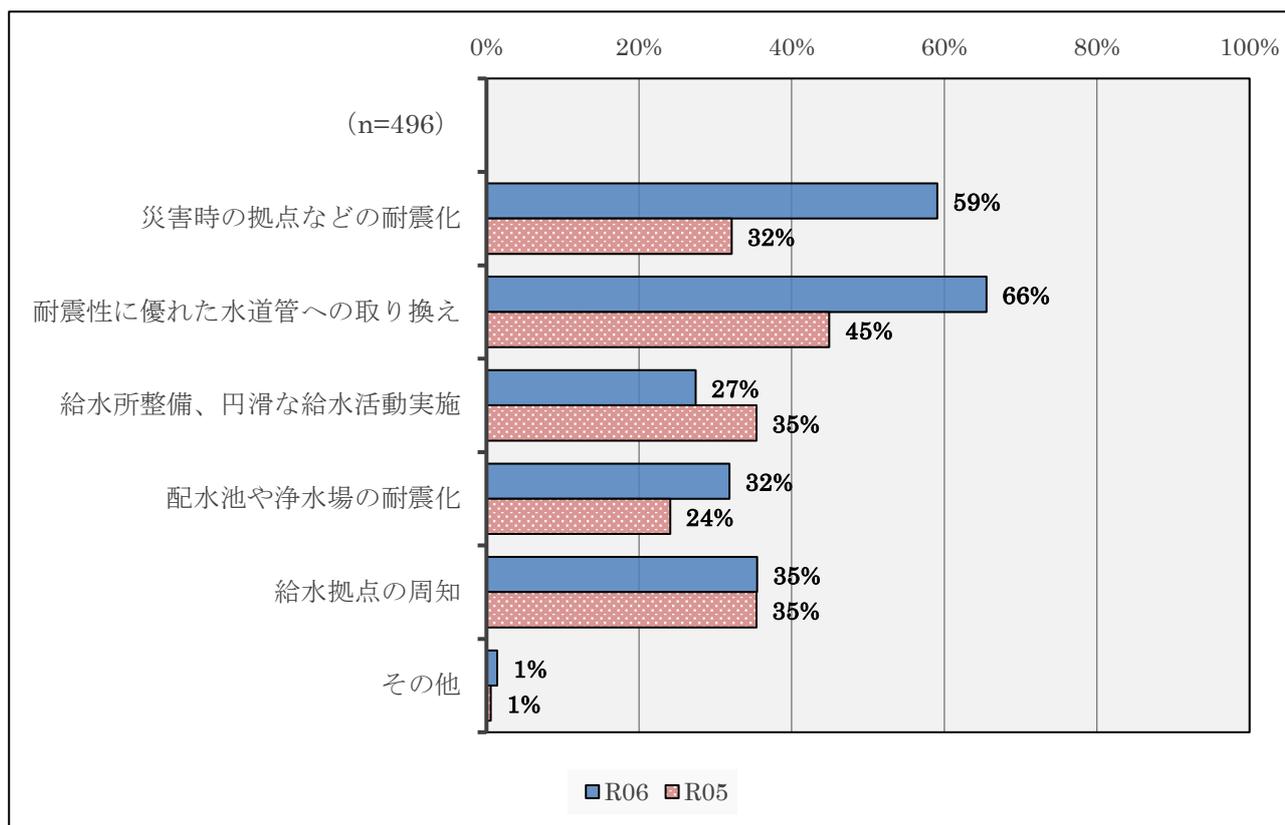


「若干の不便さはあっても、市施設の空きスペースに入ったほうがよい」と回答した方が43%を占めました。これまで市としても、市施設に適当なスペースがないか検討を続けていますが、職員のほか、車両や資材等の配置も必要であり、なかなか適当な場所が見当たらないのが実情です。「新たな庁舎を建設し、災害時にしっかり対応してほしい」と回答した方が3割程度あることも考慮しながら、災害復旧時の拠点として機能できるよう検討を進めていきます。

◆ 「その他」に記載の内容は次のとおり。

- ・ 建設費用次第
- ・ 新庁舎でなくとも耐用年数が十分な既存施設、例えば使われなくなった学校舎等をリフォームして利用しても良いと思う
- ・ 不便じゃない空きスペースってないんですか
- ・ どんな仕事をしているのか、どれくらい費用が必要なのかも分からないので答えられません。当人達が必要だという形で進めるのが1番だと思います。
- ・ 改修工事
- ・ 担当の方に委ねる

Q20 今後、水道事業で重点的に力を入れてほしい災害対策は何ですか。(複数回答可)



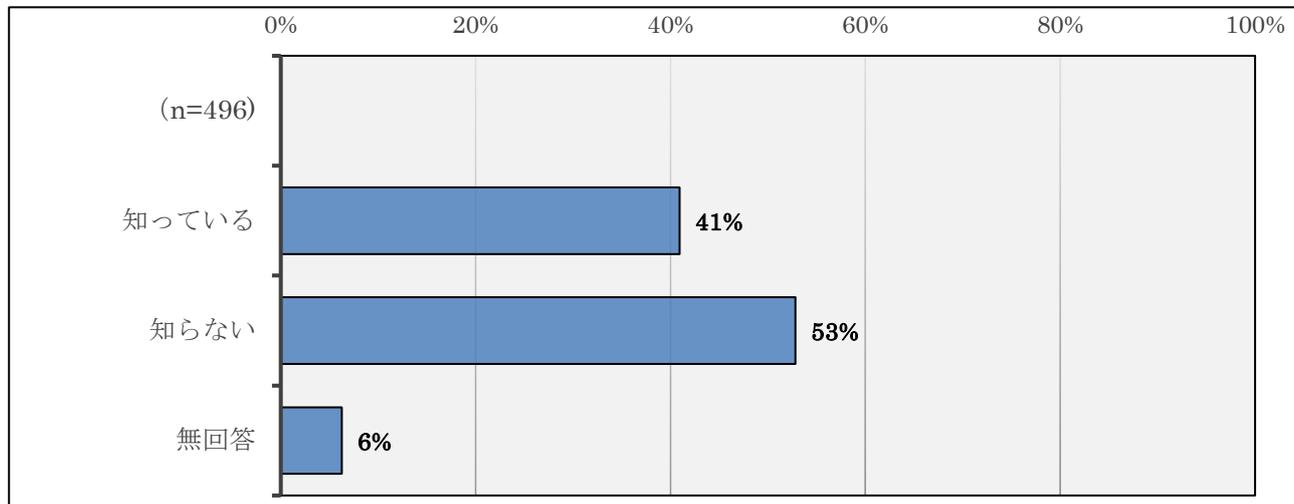
「老朽化した水道管の更新を促進し、耐震化を図ること」と回答した方の割合が66%と高くなっています。市では、毎年老朽管を耐震管に更新していますが、水道管の総延長が1,000 kmを超えているため、全ての老朽管を更新するには多額の費用と長い年数を要します。

◆「その他」に記載の内容は次のとおり

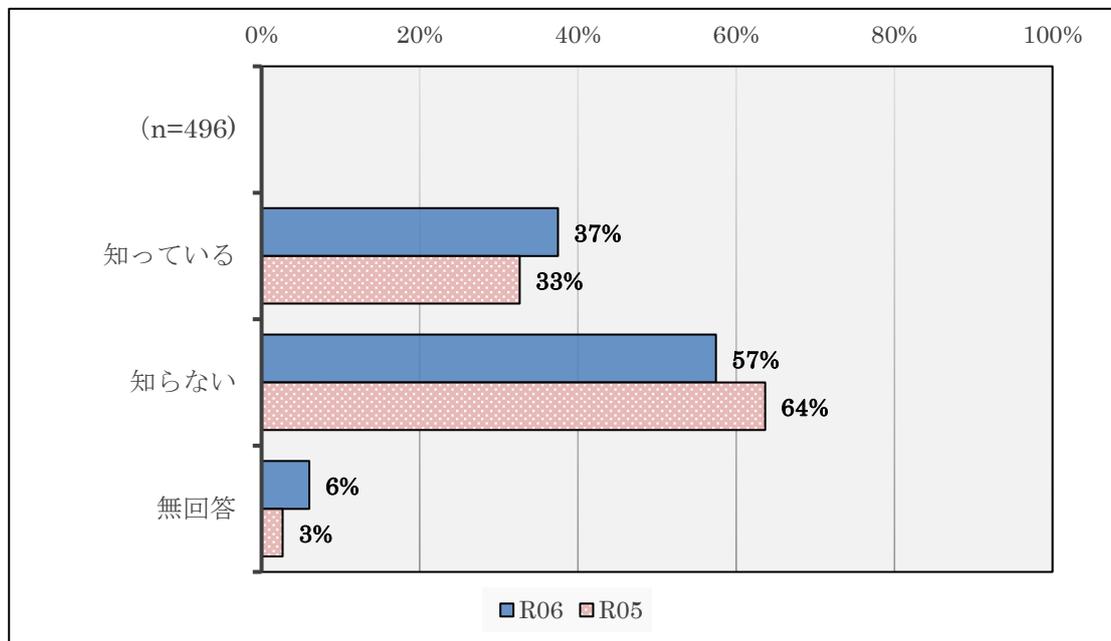
- ・水質検査をまめに行い、結果を市民に周知してほしい
- ・給水用車両の充実、他自治体との相互連携体制、災害が発生しない場合の給水用車両の運用(屋外イベント等に活用するなど)

7. 今後の水道事業について

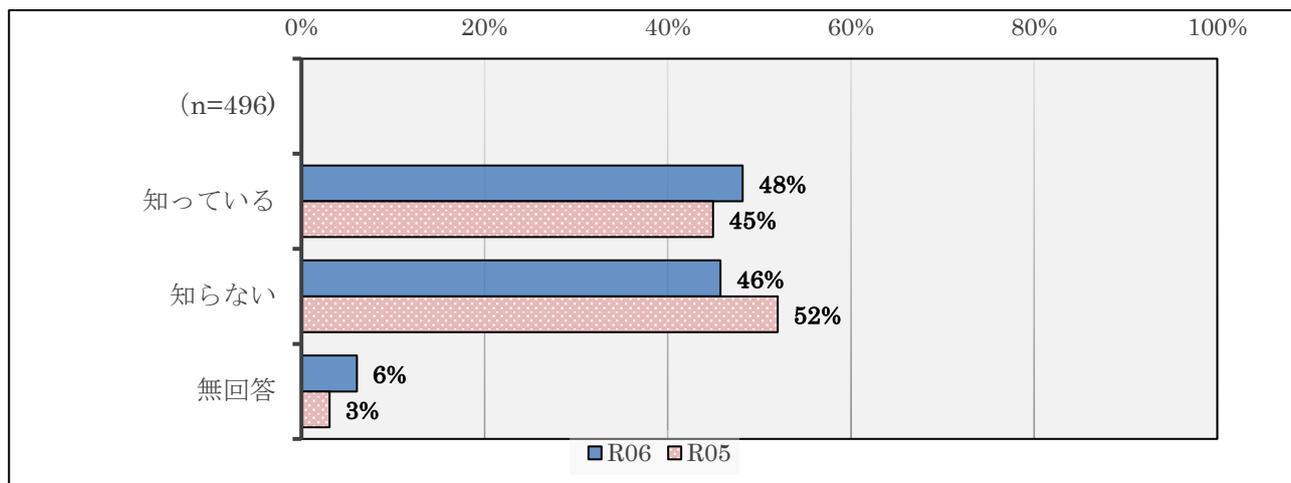
Q21 自治体は税金を主な財源として、一般行政サービスを提供しています。一方、水道事業は地方公営企業に位置づけられ、基本的に水道料金で運営しなければいけないことをご存じですか。



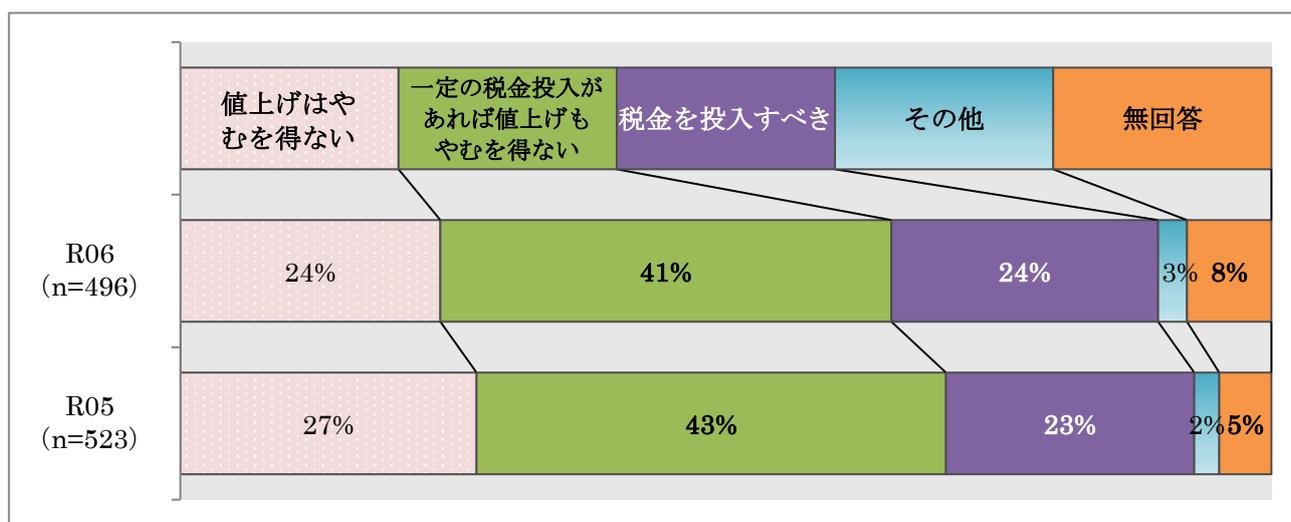
Q22 全国的な傾向ですが、横手市においても人口減少に伴う給水人口の減少や節水器具の普及などにより水需要が減少しており、水道料金収入が減少傾向にあります。このような状況をご存じですか。



Q23 配水管などの水道管や、浄水場や配水池などの施設の老朽化が進んでおり、更新が必要な状況にあることをご存じですか。



Q24 Q22、Q23のような状況から、経費節減に取り組んでいても今後、水道料金の見直しにより資金を確保しなければ老朽管の更新など必要な対策を行うことができず、水道水の安定供給を維持できなくなるおそれがあります。水道料金の値上げについてどう思いますか。



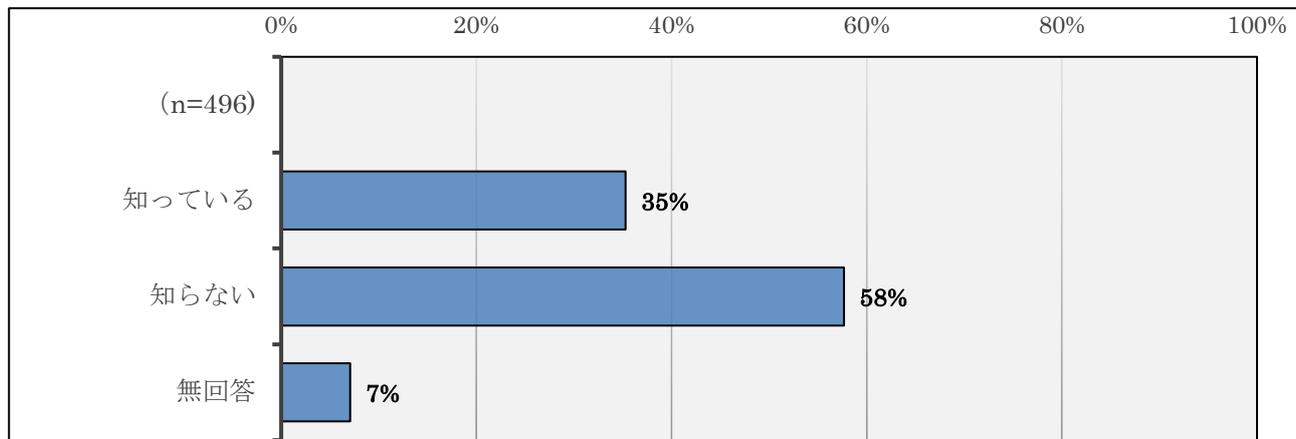
水道料金の値上げにかかる回答については、令和5年度と同じような傾向となっています。

「値上げはやむを得ない」「一定の税金投入があれば値上げもやむを得ない」の回答割合が、令和5年度と比較して僅かではありますが減少しています。

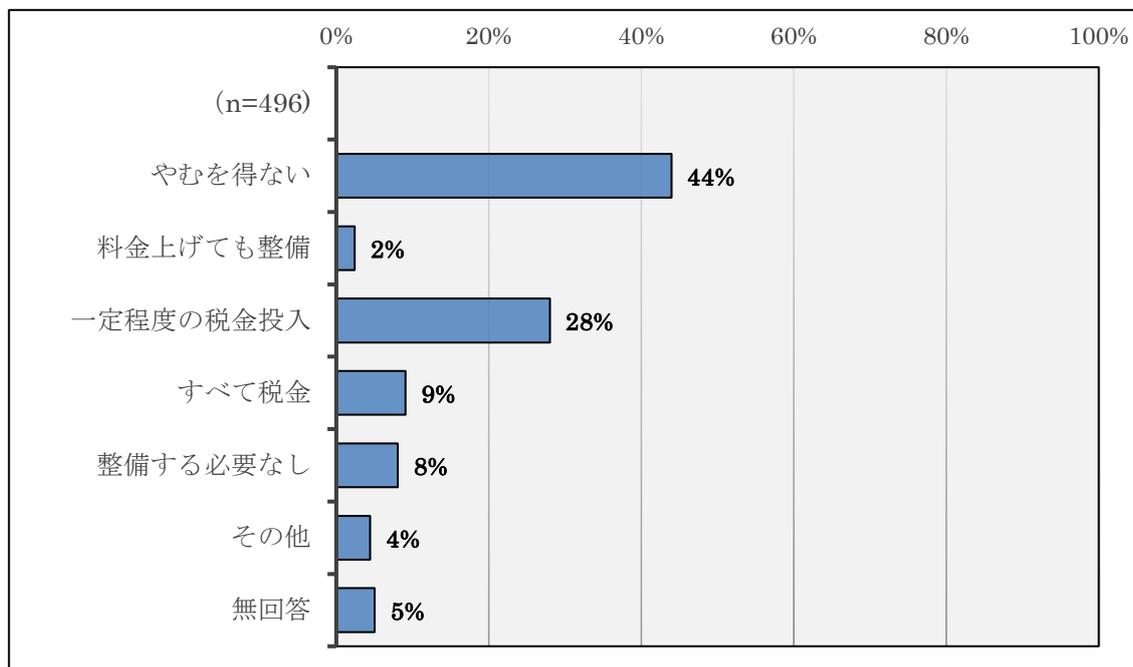
◆「その他」に記載の内容は次のとおり。

- ・内部留保の使用
- ・全体の意見尊重したい
- ・正直言うとそんなことは分かりきってたことだから、込みでお金を組み込んでおくべきだったと思う
今更どう思うかはおかしい
- ・まずは税金投入、それでもだめなら一定の税金投入を検討
- ・値上げはきついが老朽化した水道管が破裂したりすると困る
- ・一人生活はどんなことでも苦しい

Q25 市内の一部の地域では地下水の水質が良く、水量も豊富なことから、生活用水として使用している地域があります。このような地域は市の水道管が敷設されていない「未普及」地域となっておりますが、このことをご存じですか。

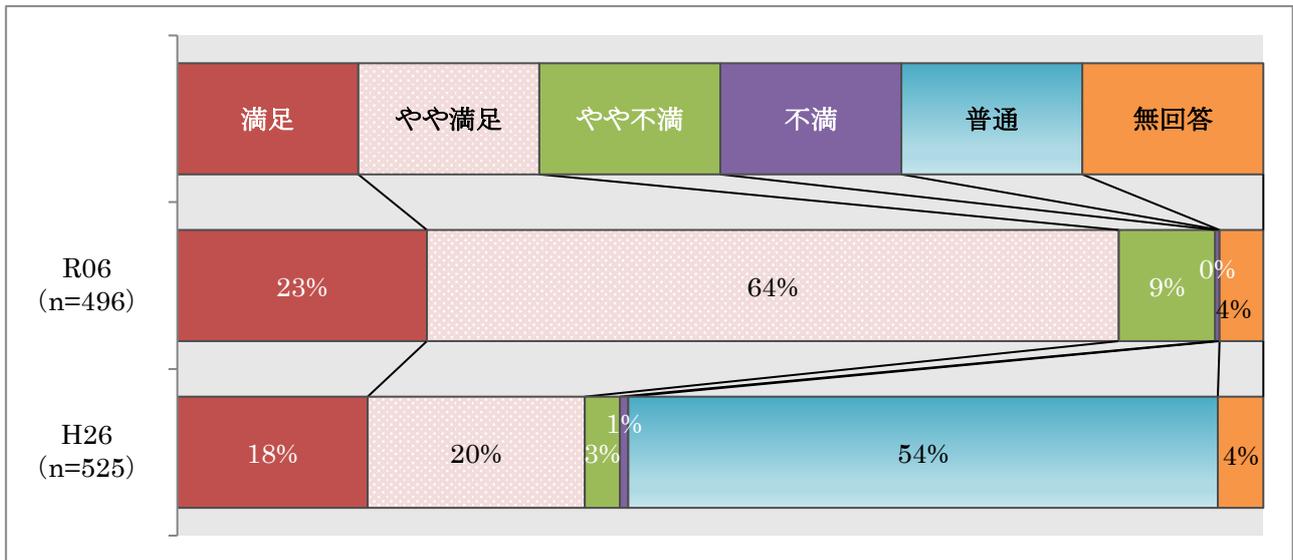


Q26 「未普及」地域において、一部の住民から市の水道管を敷設してほしいとの要望があります。市としては、加入者が少ない場所に水道管を敷設することは、水道事業の経営を更に圧迫し、ひいては水道利用者の皆さんの負担が重くなることから、地域住民の大部分に加入の意思があることを前提として整備計画を進めております。このような対応をどう思いますか。



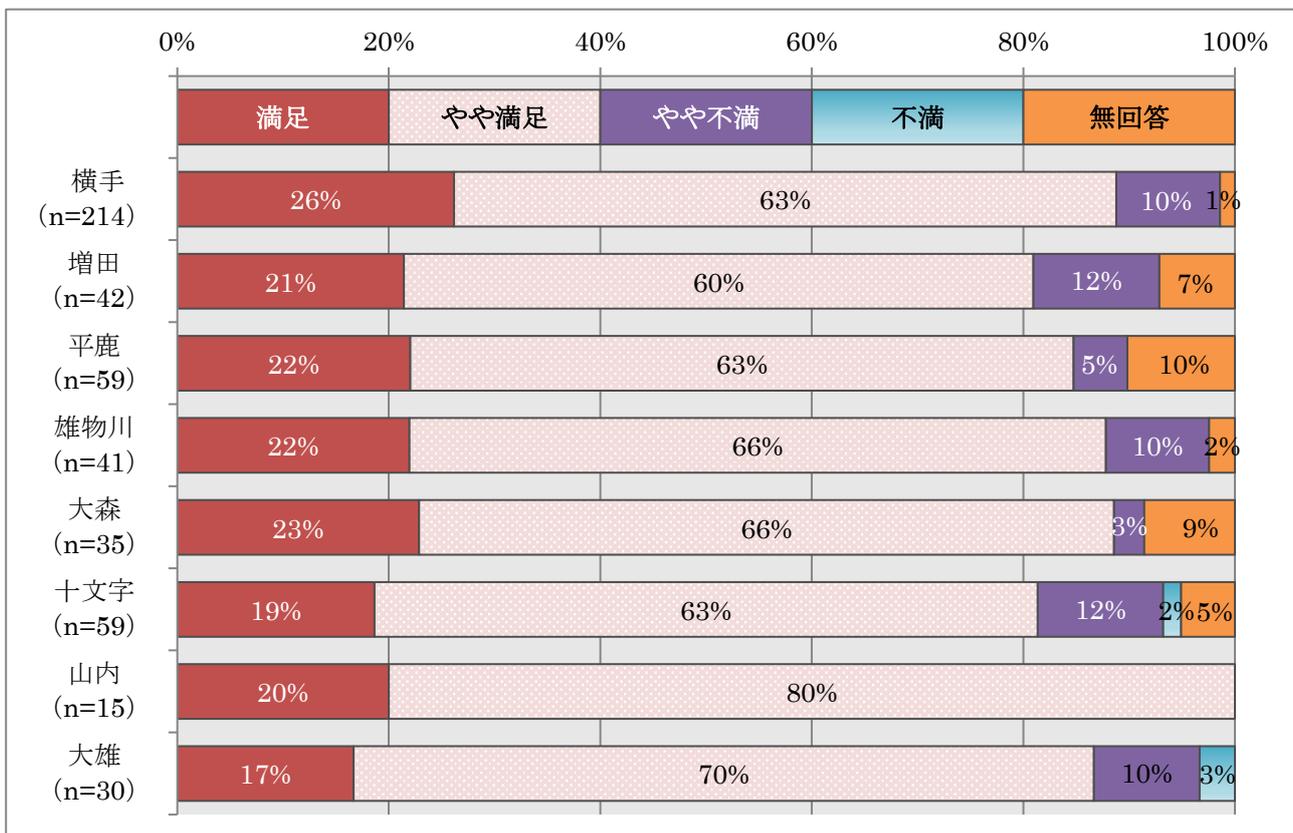
8. 水道事業全体について

Q27 水道事業全体について、どの程度満足していますか。

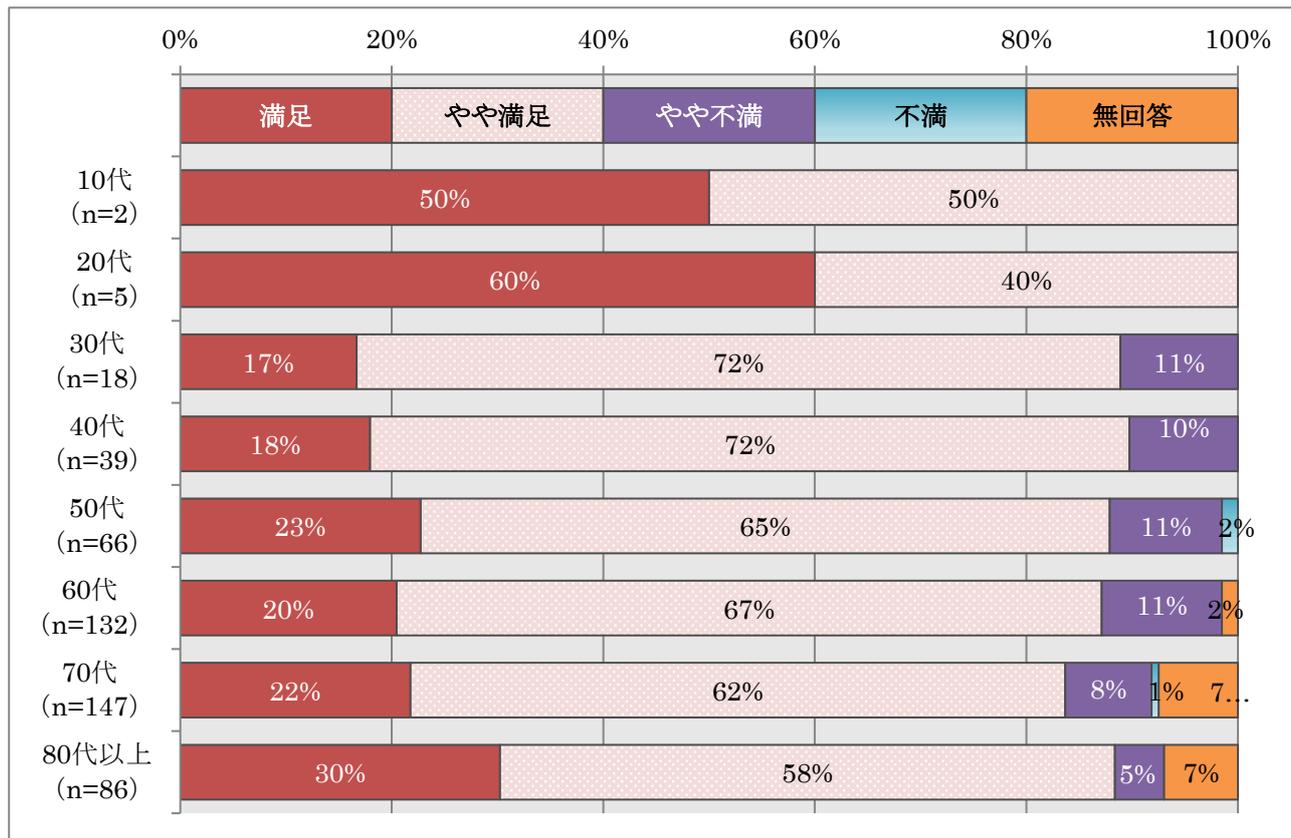


約9割弱の方が、「満足」「やや満足」と回答しています。平成26年度の調査においては、「普通」という選択肢を設けていましたが、令和2年度の調査からこの選択肢は除いています。平成26年度と比較した場合、「不満」「やや不満」に感じている割合は5ポイント上昇しています。

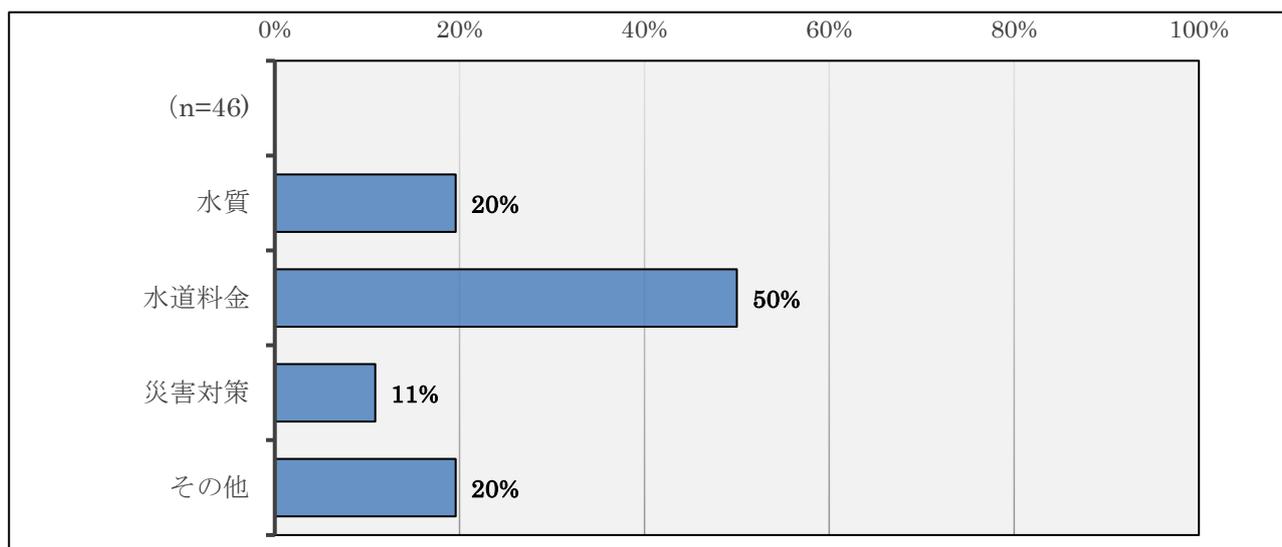
◇地域別にみると次のようになっています。



◇年代別にみると次のようになっています。



Q27-1 Q27の質問で、「3. やや不満」「4. 不満」を選んだ方へおたずねします。やや不満、不満である最大の理由は何ですか。



◆「その他」に記載の内容は次のとおり。

- ・水量が少ない（特に夕方）
- ・事業なのだから先を見越して収入UPを考えてほしい
- ・地下水があるのになぜ上水道を整備する必要があるのか

横手市水道事業アンケート

アンケートのご回答にあたって

- ①回答番号を右側の回答欄に記入してください。
- ②アンケートにご回答いただくのは、ご家族の方であればどなたでも結構です。
- ③令和6年9月13日（金）までに同封の返信用封筒に入れ、投函をお願いします。
- ④Webから回答された場合は、アンケート用紙による回答は行わないでください。

1. はじめに、お客様のことについてお尋ねします。

(1) あなたの年代を選んでください。

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上

| |
|-----|
| (1) |
| |

(2) あなたのお住まいの建物の種類を1つだけ選んでください。

1. 一戸建て
2. アパートやマンションなどの集合住宅
3. その他（一戸建ての公営住宅など）

| |
|-----|
| (2) |
| |

(3) 現在の住所にお住まいになって何年になりますか。

1. 1年未満 2. 1～5年 3. 6～10年
4. 11～20年 5. 21年以上

| |
|-----|
| (3) |
| |

(4) 一緒に暮らしているご家族は、あなたを含み何人ですか。
人数をお書きください。

| |
|-----|
| (4) |
| |

人

(5) あなたのお住まいの地域を選んでください。

1. 横手 2. 増田 3. 平鹿 4. 雄物川
5. 大森 6. 十文字 7. 山内 8. 大雄

| |
|-----|
| (5) |
| |

(8) 水道水について次の各項目のあなたの評価をお尋ねします。
4段階のうちから該当する番号に、それぞれ○印をつけてください。

| | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 |
|---------|----|------|------|----|
| ① おいしさ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② におい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ にごり | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 色 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 水の出具合 | 1 | 2 | 3 | 4 |

3. 節水についてお尋ねします。

(9) あなたのご家庭では節水を心がけていますか。

1. 常に節水している
2. どちらかといえば節水を心がけている
3. 節水は必要だと思うが、日ごろは心がけていない
4. 全く気にせず水を使っている
5. わからない

| |
|-----|
| (9) |
| |

(9-1) (9) の質問で「1. 常に節水している」「2. どちらかといえば節水を心がけている」を選んだ方へお尋ねします。あなたのご家庭では、どのようにして節水していますか。(複数回答可)

1. 蛇口をこまめに閉めている
2. 洗濯物をまとめて洗うことで、洗濯の回数を減らしている
3. お風呂の残り湯を再利用している(洗濯、掃除、散水など)
4. 食器を洗うときは、ため洗いしている
5. 雨水をためて利用している
6. 節水器具を使用している
7. 水道メーターや検針票を見て使用量を確認している
8. 「すいすいeねっと」※へ登録し、前年、前月などの使用量と比較し、確認している
9. その他 ()

| |
|-------|
| (9-1) |
| |

※「すいすいeねっと」とは、市の水道料金業務を受けている横手市水道お客様センター(☎32-2758)が提供しているサービスで、毎月の上下水道料金や使用水量がインターネットから確認できます。是非、ご利用ください。

ページID検索
1006188



(17) 『水道だより』に掲載する内容について、もっとよく知りたいと思うことを次の中から選んでください。(複数回答可)

1. 水道お客様センターに関すること
2. 水道料金のしくみや、メーターの検針に関すること
3. 経営状況に関すること(予算・決算・今後の見通し)
4. 業務内容に関すること
5. 水道工事に関すること
6. 水道施設に関すること
7. 災害時の給水対応など、災害対策に関する取組
8. 環境対策に関する取組
9. 水源に関すること
10. 水質に関すること
11. 浄水処理の方法
12. 冬期間の水道管の管理のこと
13. 漏水の発見方法
14. 漏水の修理に関すること
15. 漏水と料金の減免に関すること
16. その他 ()

| |
|------|
| (17) |
| |

(18) 水道事業に関するお知らせについて、どの媒体であれば情報を収集しやすいですか。(複数回答可)

1. 水道だより
2. 市報
3. 市ホームページ
4. Facebook
5. X (旧Twitter)
6. Instagram
7. 横手かまくらFM (コミュニティFMラジオ)
8. よこてれび (市内17箇所を設置の街角モニター)
9. その他 ()

| |
|------|
| (18) |
| |

6. 災害対策についてお尋ねします。

(19) 水道庁舎は災害時に水道の復旧等を迅速に指揮する拠点となりますが、旧耐震基準により建築された建物であり、耐用年数を超え老朽化が進んでいるため、大規模な地震の際は倒壊のおそれがあります。水道庁舎は今後どのようにしたらよいと思いますか。

1. 新たな庁舎を建設し、災害時にしっかり対応してほしい
2. 若干の不便さはあっても、市施設の空きスペースに入ったほうがよい
3. 可能な限り、現庁舎を使い続けたほうがよい
4. その他 ()

| |
|------|
| (19) |
| |

(20) 今後、水道事業で重点的に力を入れてほしい災害対策は何ですか。(複数回答可)

1. 災害時に応急・復旧活動の指揮命令機能を担う中枢機関や医療救護活動の拠点となる病院への供給ルートの耐震化実施
2. 老朽化した水道管の更新を促進し、耐震化を図ること
3. 給水所の整備をすすめ、円滑な給水活動を実施すること
4. 配水池や浄水場など水道施設の耐震化を図ること
5. 災害時に応急給水を行う給水拠点の名称・場所の周知
6. その他 ()

| |
|------|
| (20) |
| |

(26) 「未普及」地域において、一部の住民から市の水道管を敷設してほしいとの要望があります。市としては、加入者が少ない場所に水道管を敷設することは、水道事業の経営を更に圧迫し、ひいては水道利用者の皆さんの負担が重くなることから、地域住民の大部分に加入の意思があることを前提として整備計画を進めております。このような対応をどう思いますか。

1. やむを得ない
2. 水道料金を上げてでも早期に整備すべき
3. 一定程度の税金を投入して早期に整備すべき
4. すべて税金で早期に整備すべき
5. 整備する必要はない
6. その他 ()

| |
|------|
| (26) |
| |

8. 水道事業全体についてお尋ねします。

(27) 水道事業全体について、どの程度満足していますか。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

| |
|------|
| (27) |
| |

(27-1) (27)の質問で、「3. やや不満」「4. 不満」を選んだ方へお尋ねします。
やや不満、不満である最大の理由を1つだけ選んでください。

1. 水質 2. 水道料金 3. 災害対策
4. その他 ()

| |
|--------|
| (27-1) |
| |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

これからも水道事業に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、水道事業に関するご意見などがありましたら、ご意見欄にお書きください。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

ご意見欄

横手市水道事業アンケート

報告書

令和6年10月

編集・発行 横手市上下水道部経営管理課
〒013-0022 秋田県横手市四日町3番23号
Tel 0182-35-2251
Fax 0182-33-3429